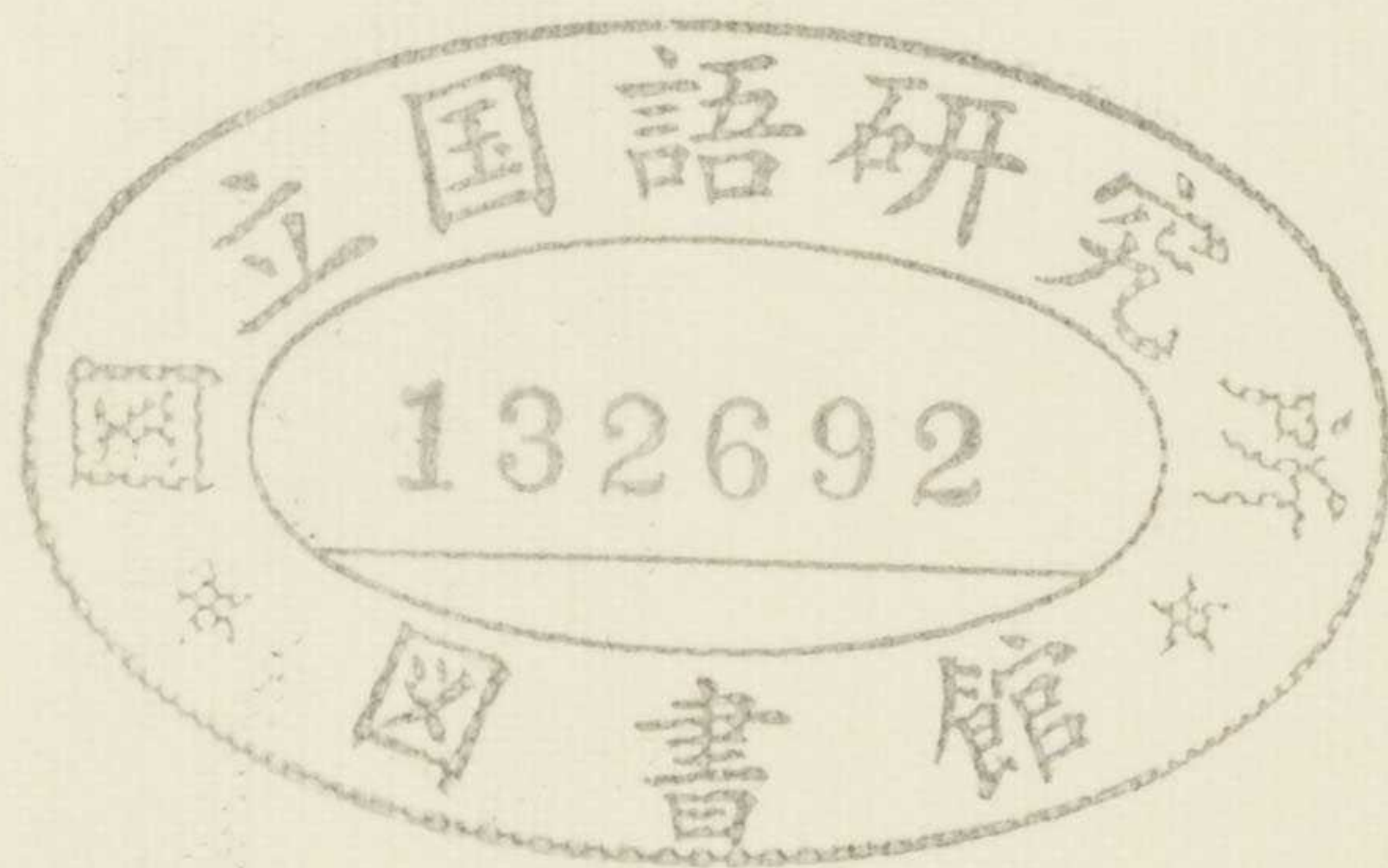


に
っ
ぽ
ん
ご
の
ほ
ん

三
ね
ん
上



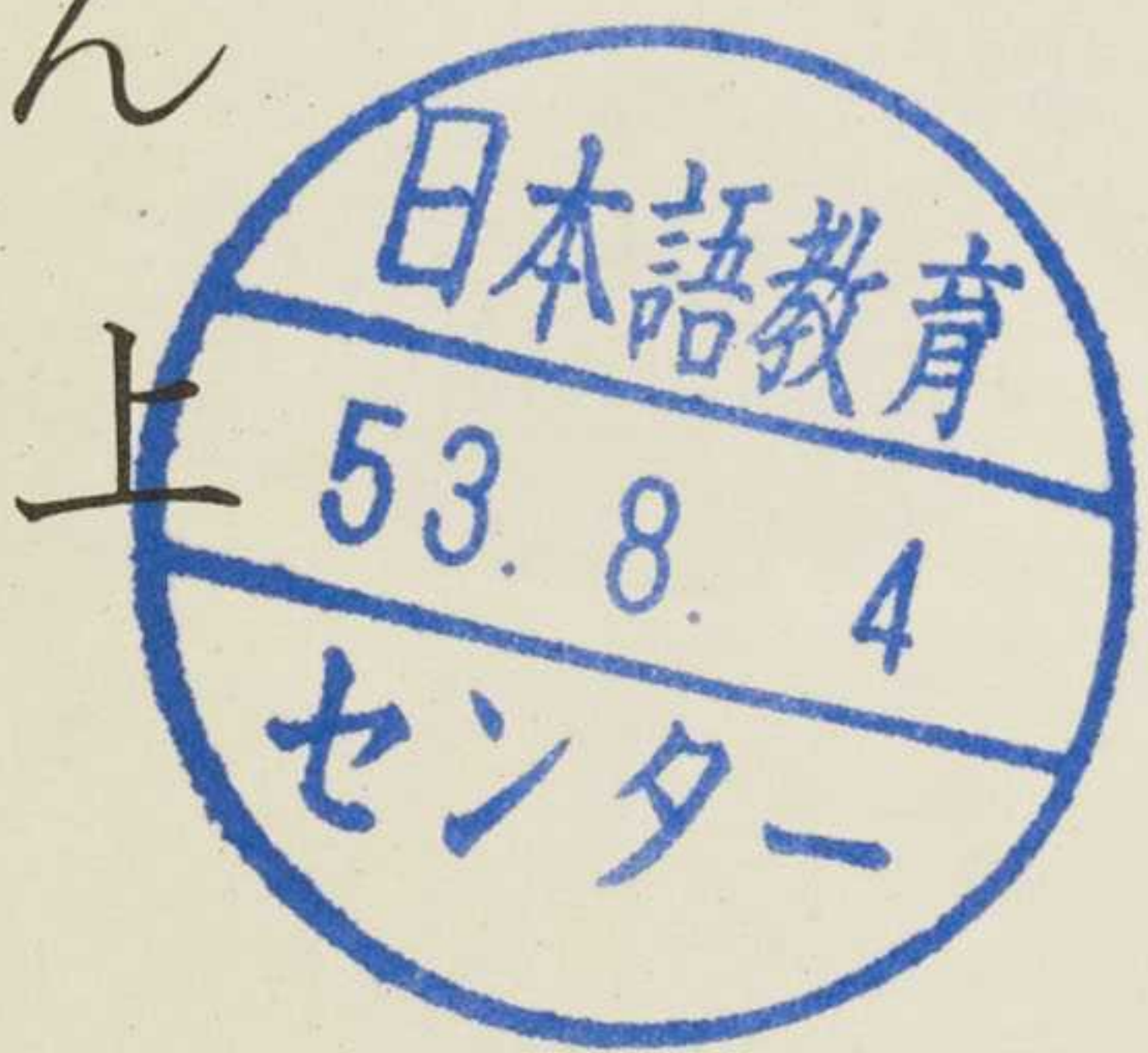
KN-
N
3



に
っ
ぽ
ん
ご
の

ほ
ん

三
ね
ん



もくじ

1
みなと

みなと……………4

でむかえ……………8

あの はな この はな……………14

よくばりの いぬ……………16

2
とけい

わたしの 一にち……………22

とけいの うた……………28

みつつの とけい……………30



3 おかあさんと こども

くまと お月さま……………38

るすばん……………44

4 ことばと ぶん

ぶんづくり……………50

ふくびき……………58

5 いっすんぼうし

いっすんぼうし……………64

○かんじ……………77

○ひらがな……………78



1 みなと

みなと

ここは みなとです。

おおきい ふねが、とまって います。

ちいさい ふねも、とまって います。

ごらん なさい。

この ふねは、

にっぽんから きたのです。



おおきい ふねが、

みなとを でて いきます。

あの ふねは、

にっぽんへ いくのです。

ごらんなきい。おきの ほうに、しろい

おしろの ような ふねが、はしって

います。どこの くにの ふねですか。



まとめとれんしゅう 1

にっぽんから きます。 ↓ くるのです。

きました。 ↓ きたのです。

にっぽんへ いきます。 ↓ いくのです。

いきました。 ↓ いったのです。

にっぽんに います。 ↓ いるのです。

いました。 ↓ いたのです。



どこの

まちの

えはがきですか。

どこの

がっこうの

せいとですか。

どこの

うちの

いぬですか。

どこの

くにの

ふねですか。

さとうの

ような

ゆき

やまの

ような

なみ

ぼんの

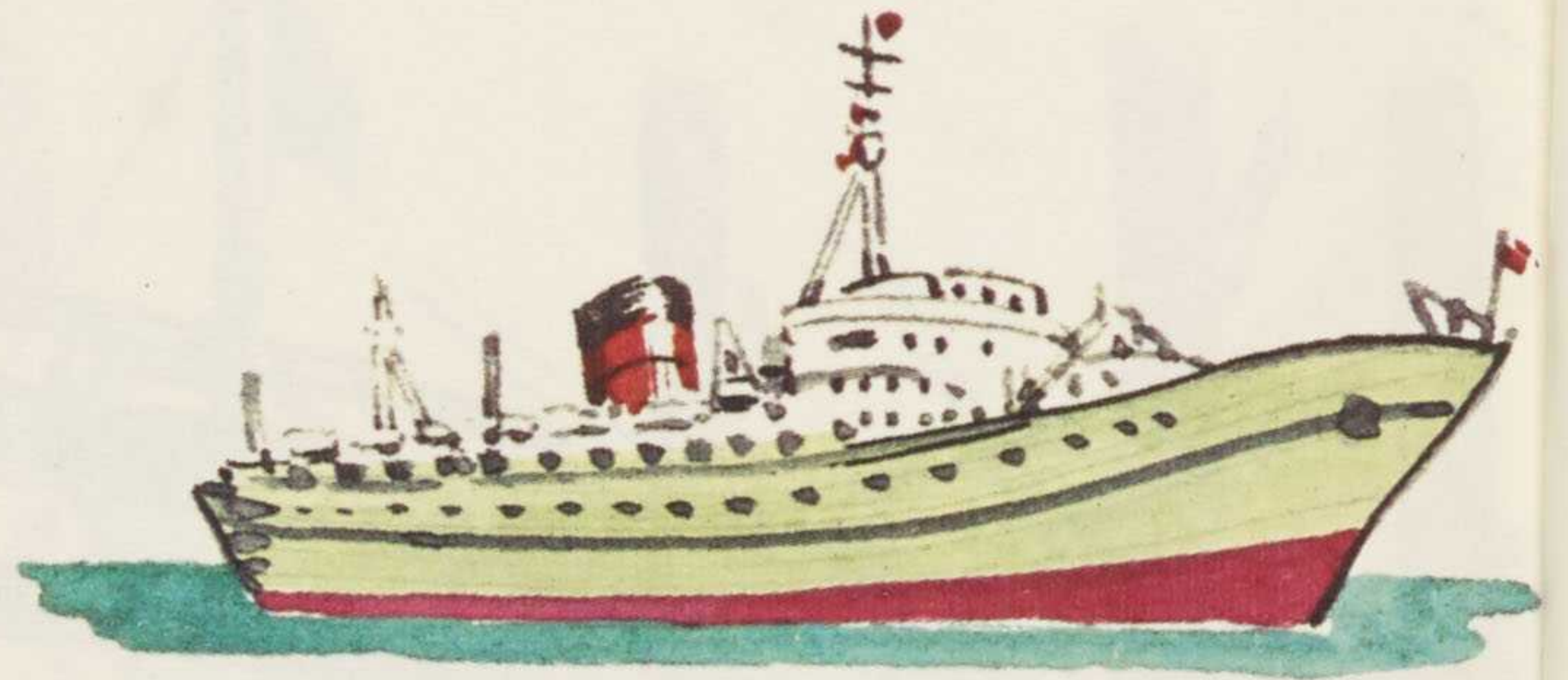
ような

つき

おしろの

ような

ふね



でむかえ

にっぽんから

おじさんが きます。

わたしは、

おとうさんと みなとへ

むかえに いきました。



ふねは、もう
ついて いました。
ふねから ひとが、
たくさん おりて きました。
わたしは、どれが おじさんか
わかりませんでした。



せの たかい おとこの

ひとが ききました。

すると、おとうさんは、

てを あげて よびました。

「じろうくん、じろうくん。」

じろうおじさんは、

わたしたちの そばへ ききました。

おとうさんと おじさんは、



おとうさんと おじさんは、

にっぽんごで はなしました。

わたしは よく わかりませんでした。

おじさんは、わたしにも

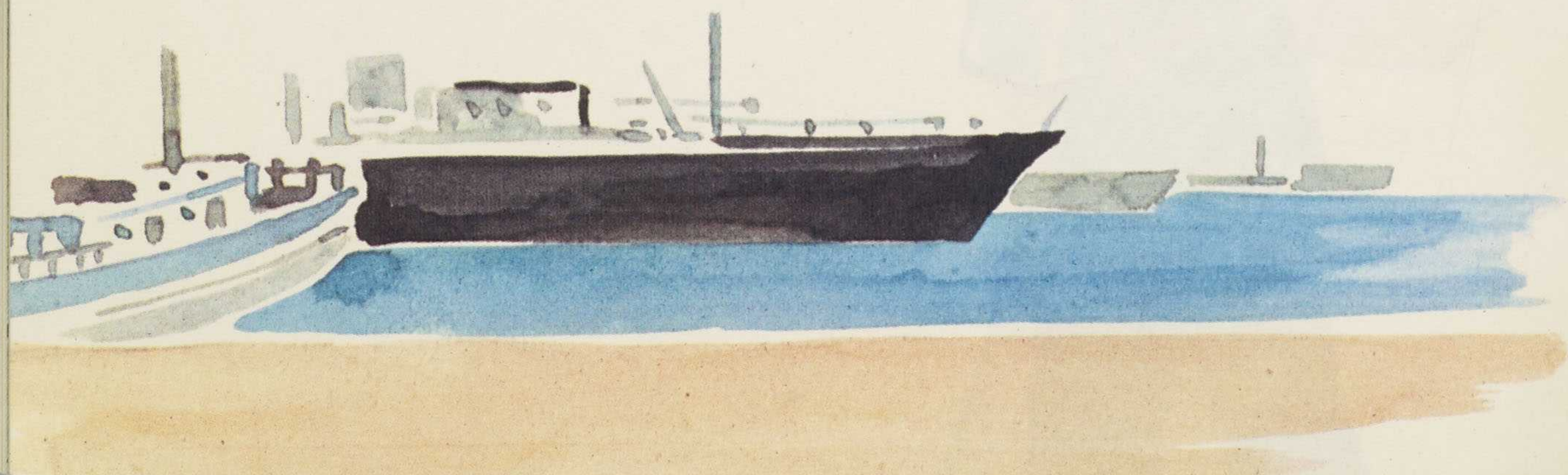
にっぽんごで はなしました。

「なつおくんです。ね。こんにちは。」

わたしは にっぽんごで こたえました。

「こんにちは。」

よく いらっしやいました。」



まとめと

れんしゅう

2

どれが おじさんか わかりませんでした。

どれが わたしの ほんか わかりませんでした。

どれが おとうさんの くるまか

わかりませんでした。

「こんにちは。」

「よくいらっしやいました。」



にっぽんごで
 はなしました。
 こたえました。

てをあげました。
 そしてよびました。
 てをあげてよびました。

ごはんをたべました。
 そしてあそびました。
 ごはんをたべて
 あそびました。

やまにのぼりました。
 そしてうみをみました。
 やまにのぼって
 うみをみました。



あの はな、この はな

あの はな、この はな、

あかい はな。

この はな、その はな、

しろい はな。

その はな、この はな、

かわいいな。



このはな、あのはな、
きれいだな。
あのこも、このこも、
みているな。
どのこもにっこり、
みているな。



よくばりの
いぬ

いぬが、

おおきな
にくを

みつけました。

「うれしいな。うちで

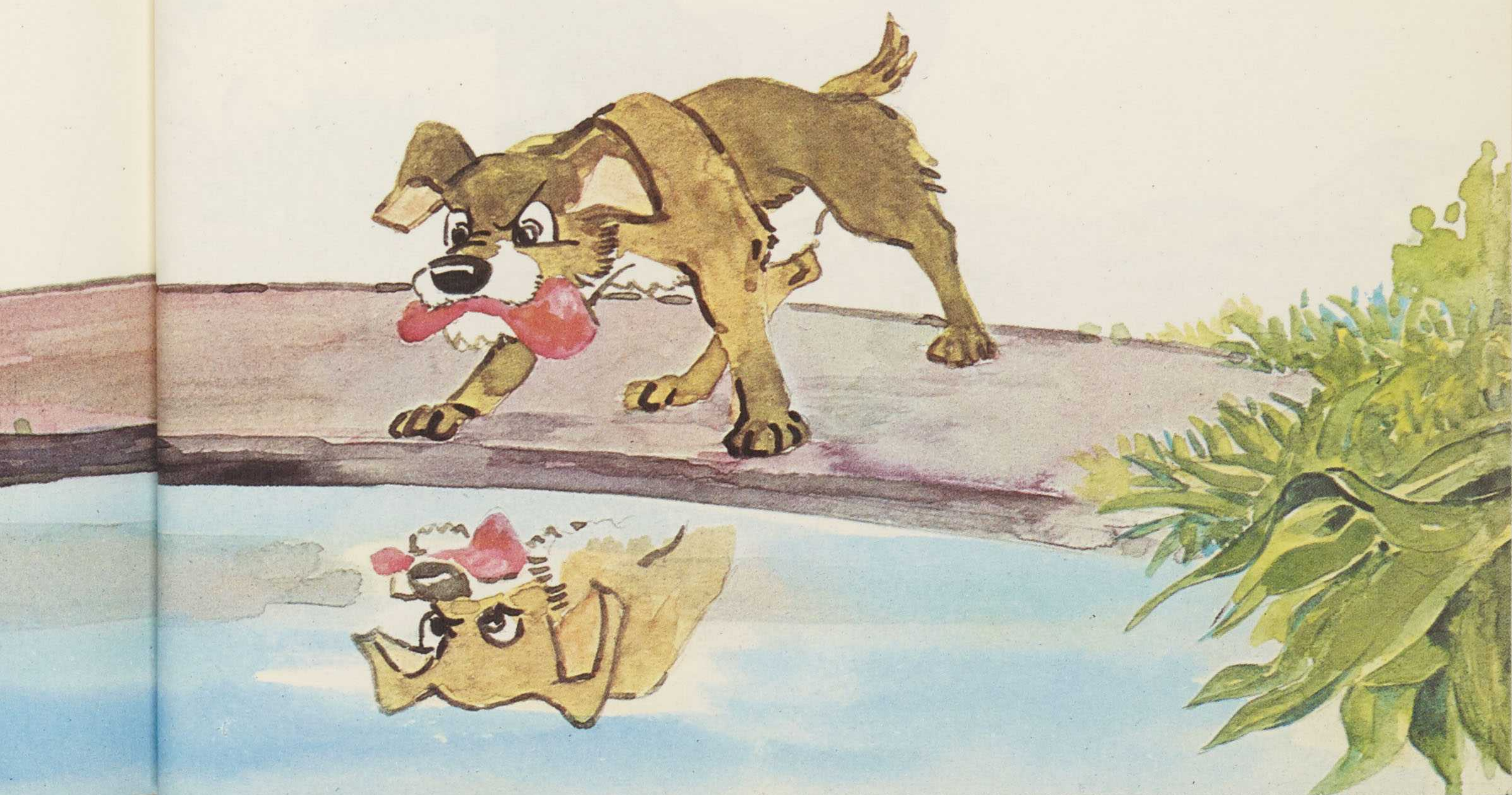
ゆっくり
たべよう。」



いぬは、
にくを くわえて、
いそいで いきました。
とちゆうに、ちいさい
川が ありました。
川に、
はしが ありました。



いぬは、
はしを わたりながら、
下の ほうを みました。
川の中に、
いぬが いました。
その いぬも、 おおきな
にくを くわえて いました。



よくばりのいぬは、

そのにくもほしいと

おもいました。

いぬはほえました。

「そのにくをよこせ。

わんわん。」

おおきなにくは、

川の中へおちてしまいました。



まとめと れんしゅう 3

ゆっくり たべよう。
いそいで たべよう。

ゆっくり あるこう。
いそいで あるこう。

はしを わたりながら 下の ほうを みました。

ごはんを たべながら はなしました。

あるきながら かんがえました。



あるきなから
かんかえました。

その にくも ほしい と おもいました。

あたらしい くつが ほしい と おもいました。

らじおが ほしい と おもいました。

にくは、川の 中へ おちて しまいました。

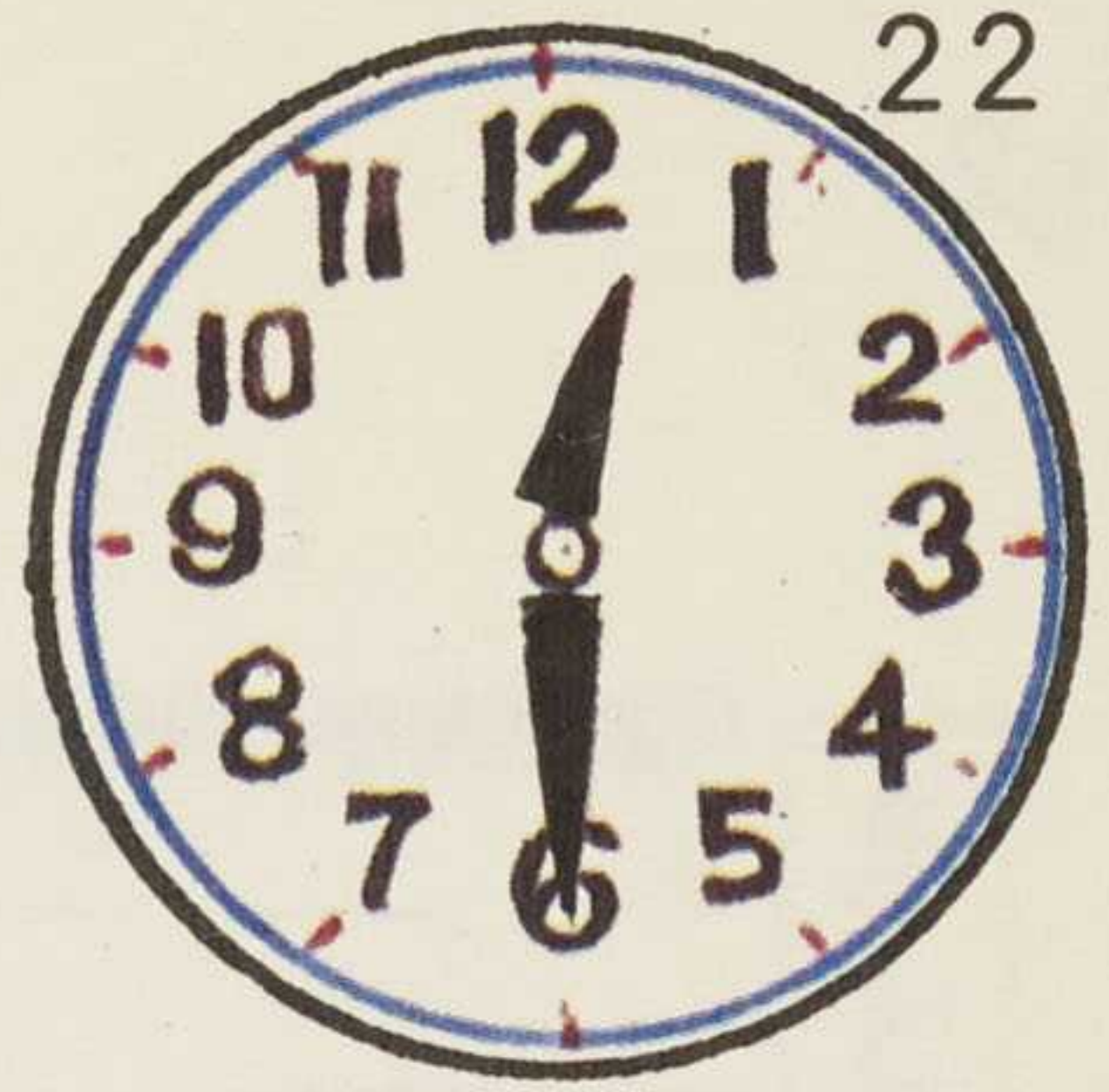
じどうしゃは、むこうへ 行って しまいました。

なつおさんは、うちへ かえって しまいました。

川川川 かわ

下下下 した

中中中 なか



22

2

とけい

わたしの 一にち

あなたは なんじに おきますか。

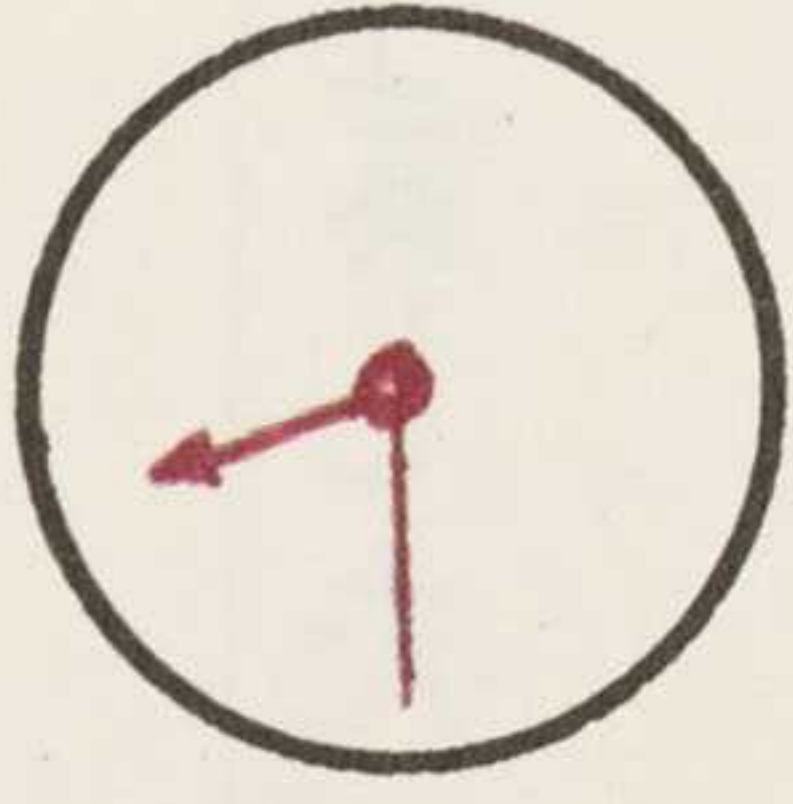
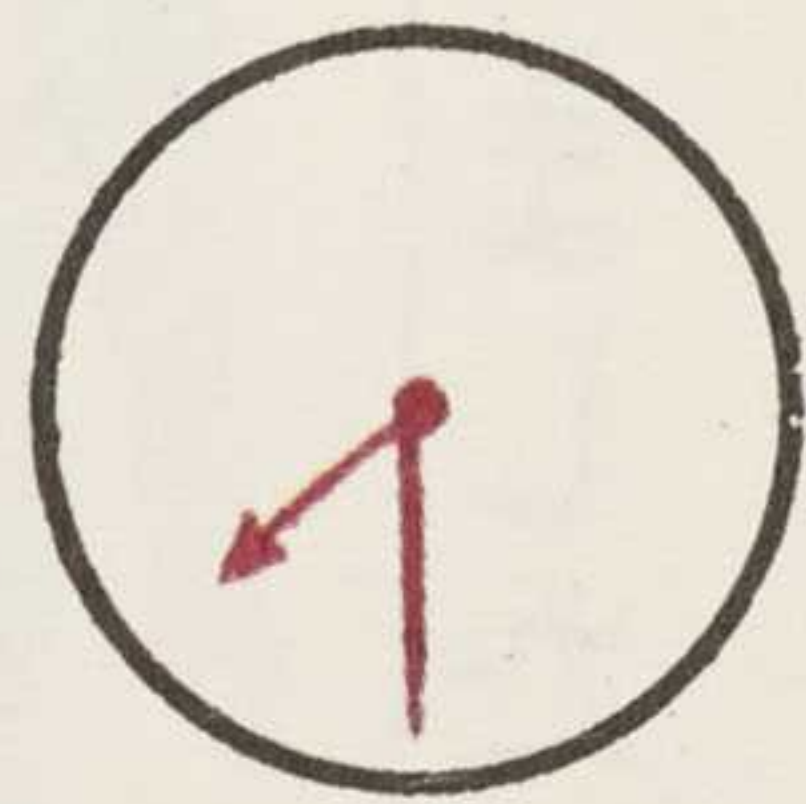
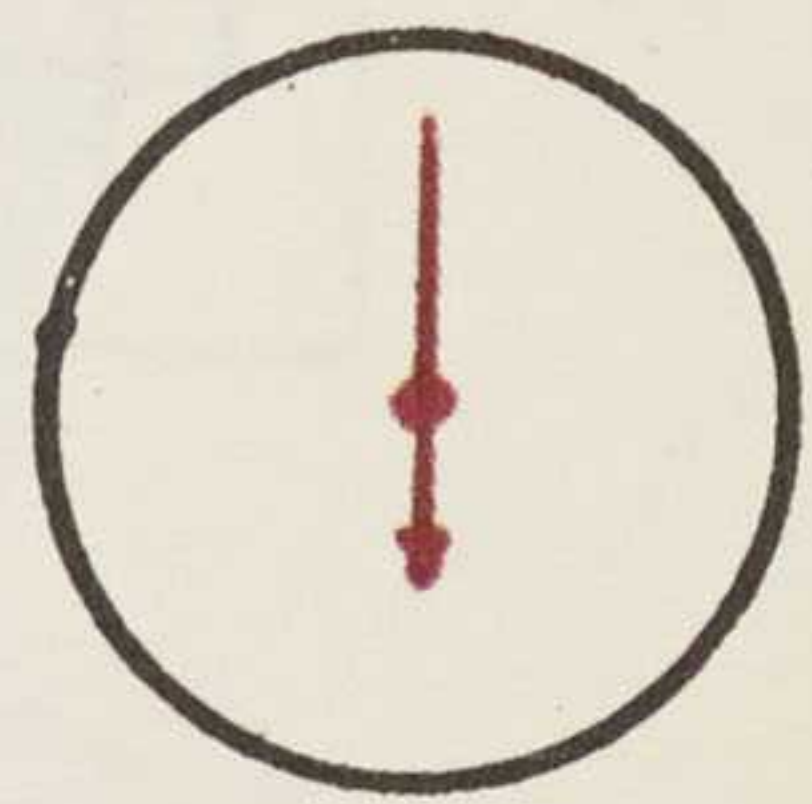
六じに おきます。

なんじに あさごはんを たべますか。

七じはんに たべます。

がっこうは なんじに はじまりますか。

八じはんに はじまります。



八じはんに はじまります。

がっこうで、なんじかん

べんきょうしますか。

五じかん べんきょうします。

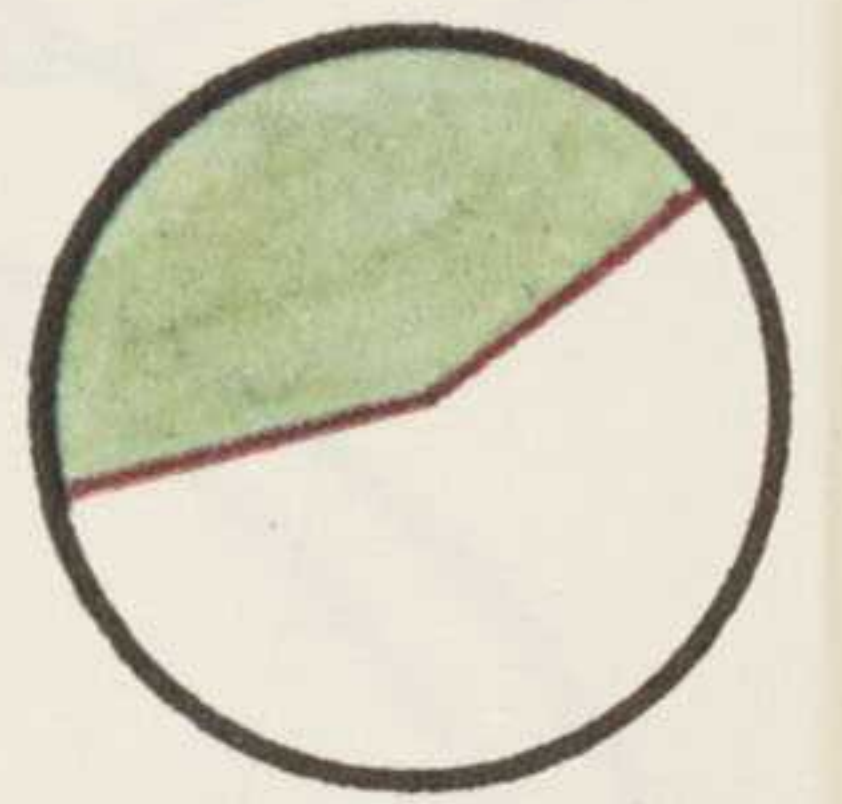
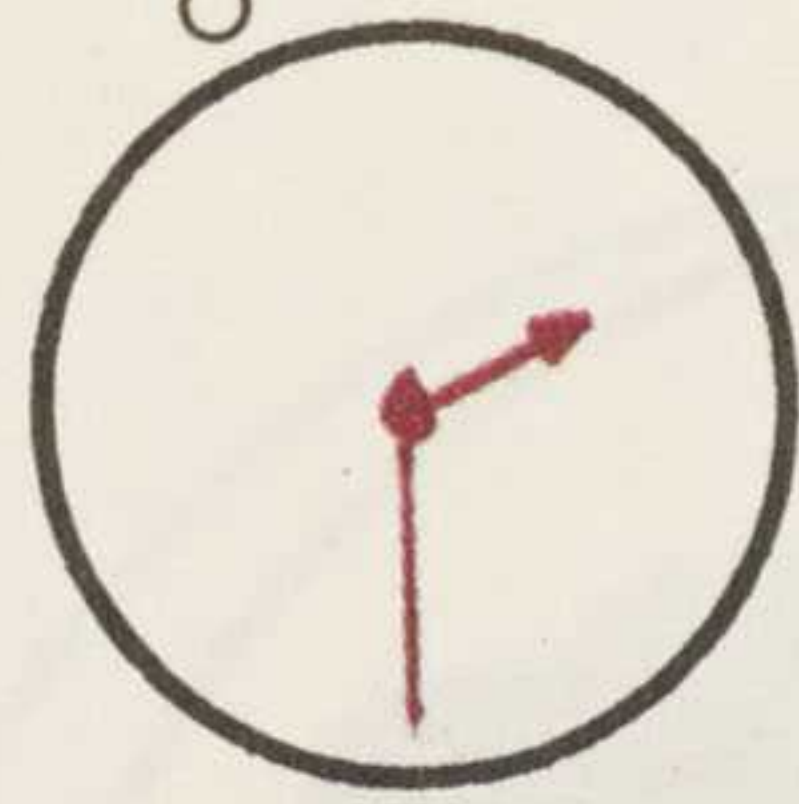
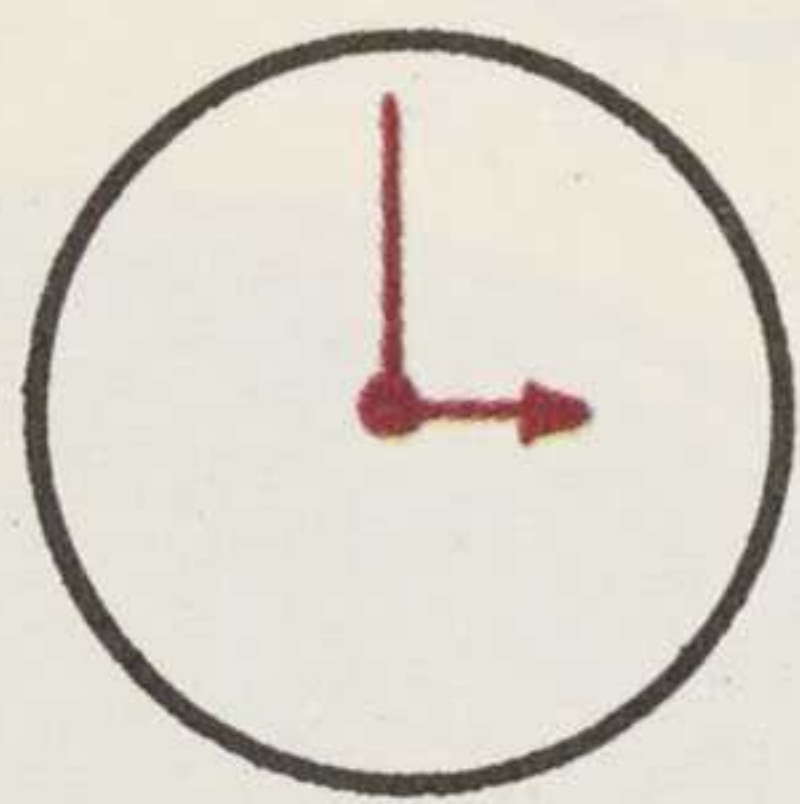
がっこうは なんじに おわりますか。

二じはんに おわります。

にっぽんごがっこうは、なんじに

はじまりますか。

三じに はじまります。



にっぽんごがっこうで、

なにを べんきょうしますか。

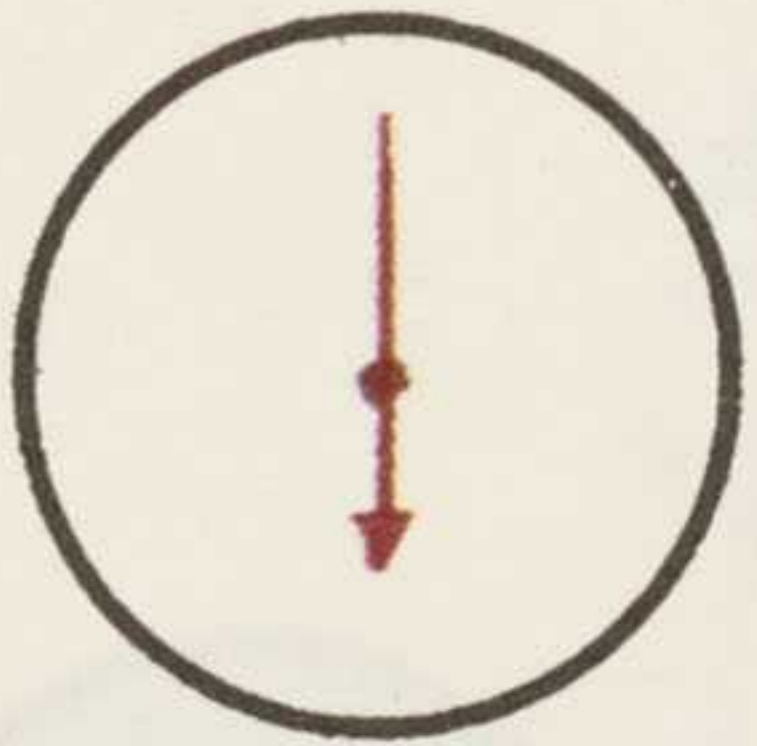
にっぽんごを べんきょうします。

なんじに うちへ かえりますか。

四じに かえります。

ゆうごはんは なんじですか。

六じごろ です。



ゆうごはんを たべてから、

なにを しますか。

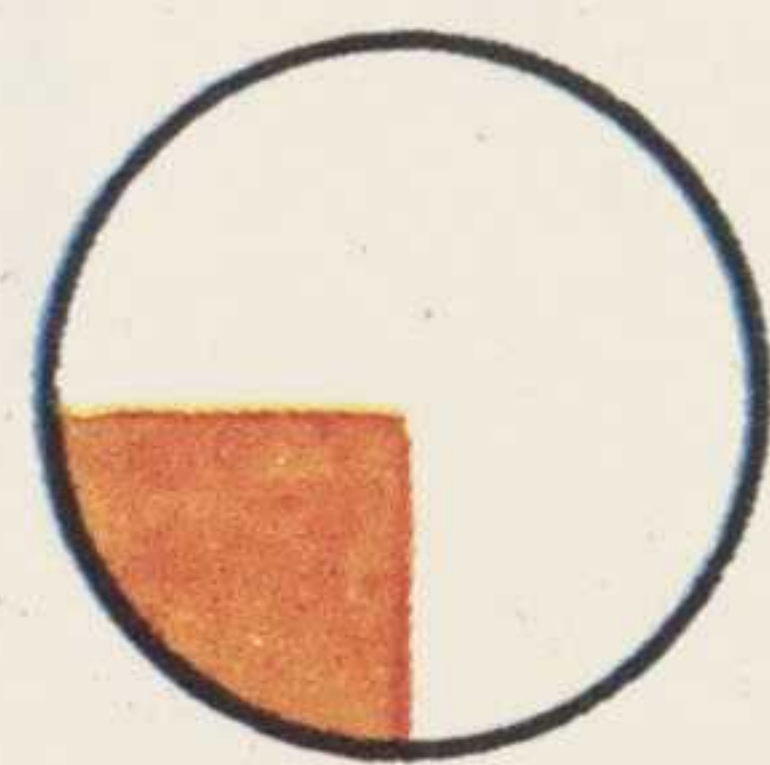
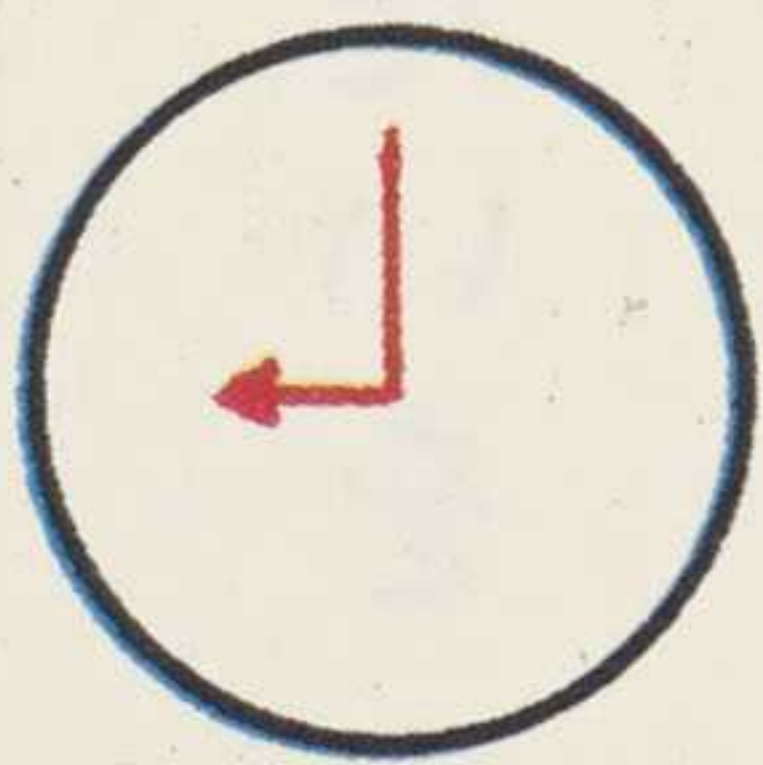
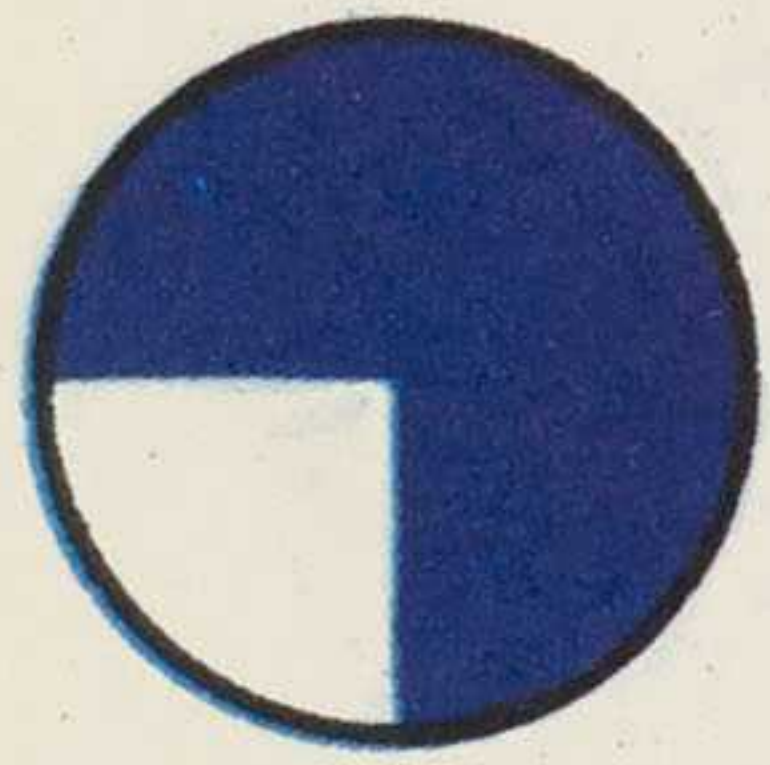
しゅくだいを します。

なんじに ねますか。

九じに ねます。

なんじかん ねますか。

九じかん ねます。



まとめと れんしゅう 4

ゆうごはんを たべます。

ゆうごはんを

それから

たべてから、

しゅくだいを します。

しゅくだいを します。

にっぽんごを

にっぽんごを

べんきょうします。

べんきょうしてから、

それから かえります。

かえります。

なんじに おきますか。

なにを べんきょうしますか。

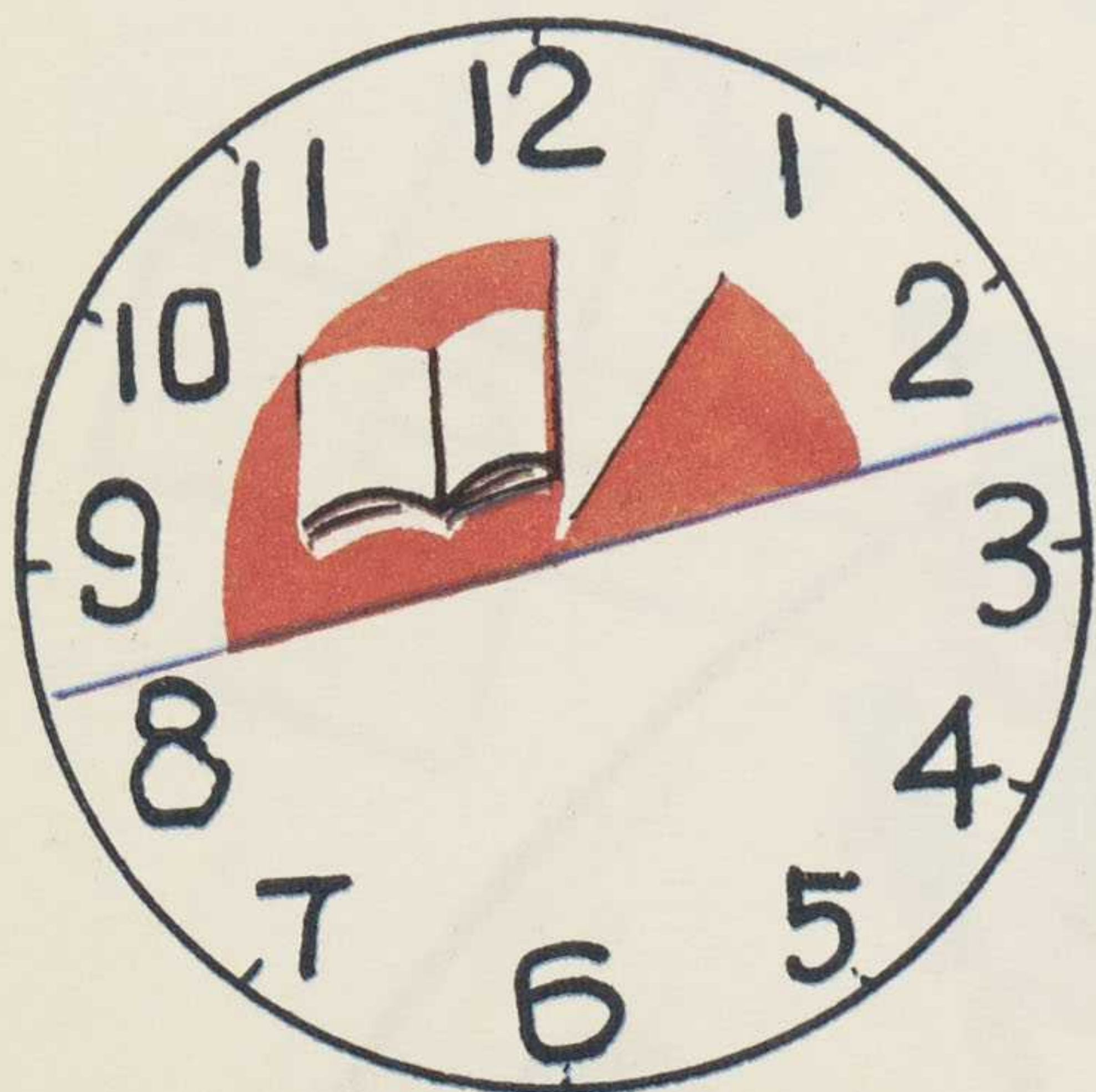


1	一	いち
2	二	に
3	三	さん
4	よ	四し
5	五	ご
6	六	ろく
7	七	しち
8	八	はち
9	九	く
10	十	じゅう

なんじかん
 べんきようしますか。
 五じかん
 べんきようします。

なんじに
 うちへかえりますか。
 四じに
 うちへかえります。

なんじに
 がっこうへいきますか。
 七じはん
 がっこうへいきます。



とけいのうた



筒井敬介 作詩
村上太郎 作曲

©Keisuke Tsutsui
and Taro Murakami

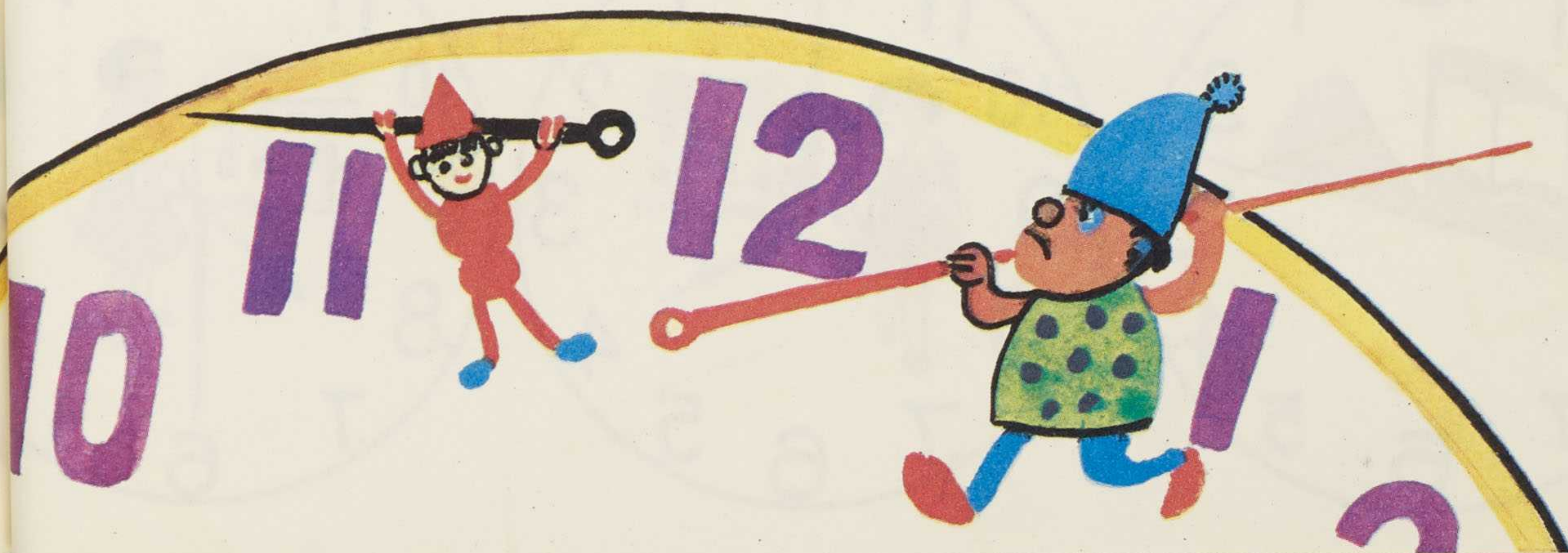
一、こちこちかっちん おとけいさん

こちこちかっちん うごいてる

こどもの はりと おとなの はりと

こんにちは さようなら

こちこちかっちん さようなら



二、こちこちかっちゃん おとけいさん

こちこちかっちゃん うごいてる

こどもが ぴよこり

おとなが ぴよこり

こんにちは

さようなら

こちこちかっちゃん

さようなら



みつつの とけい
よなかです。

みんなねむって います。

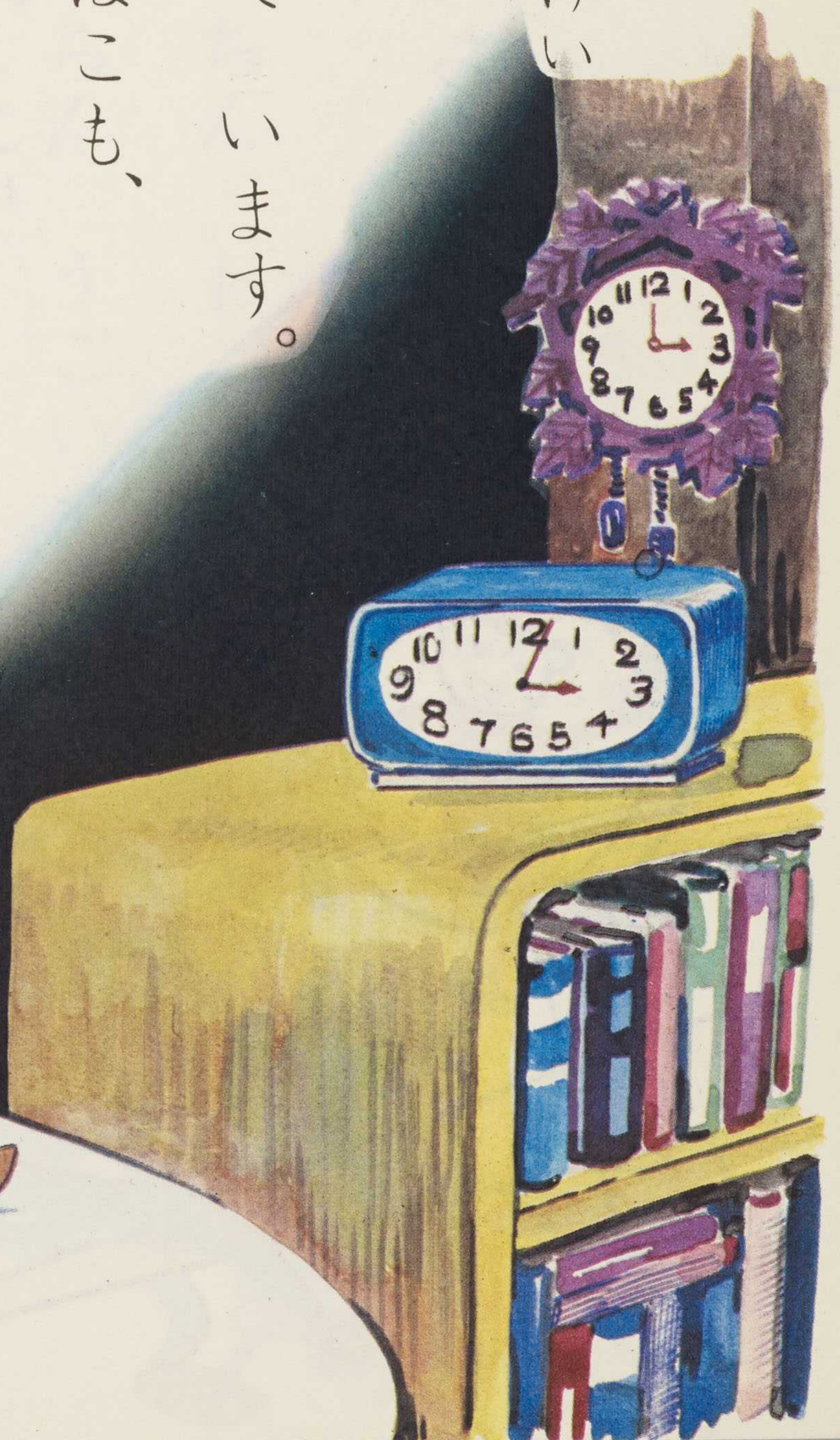
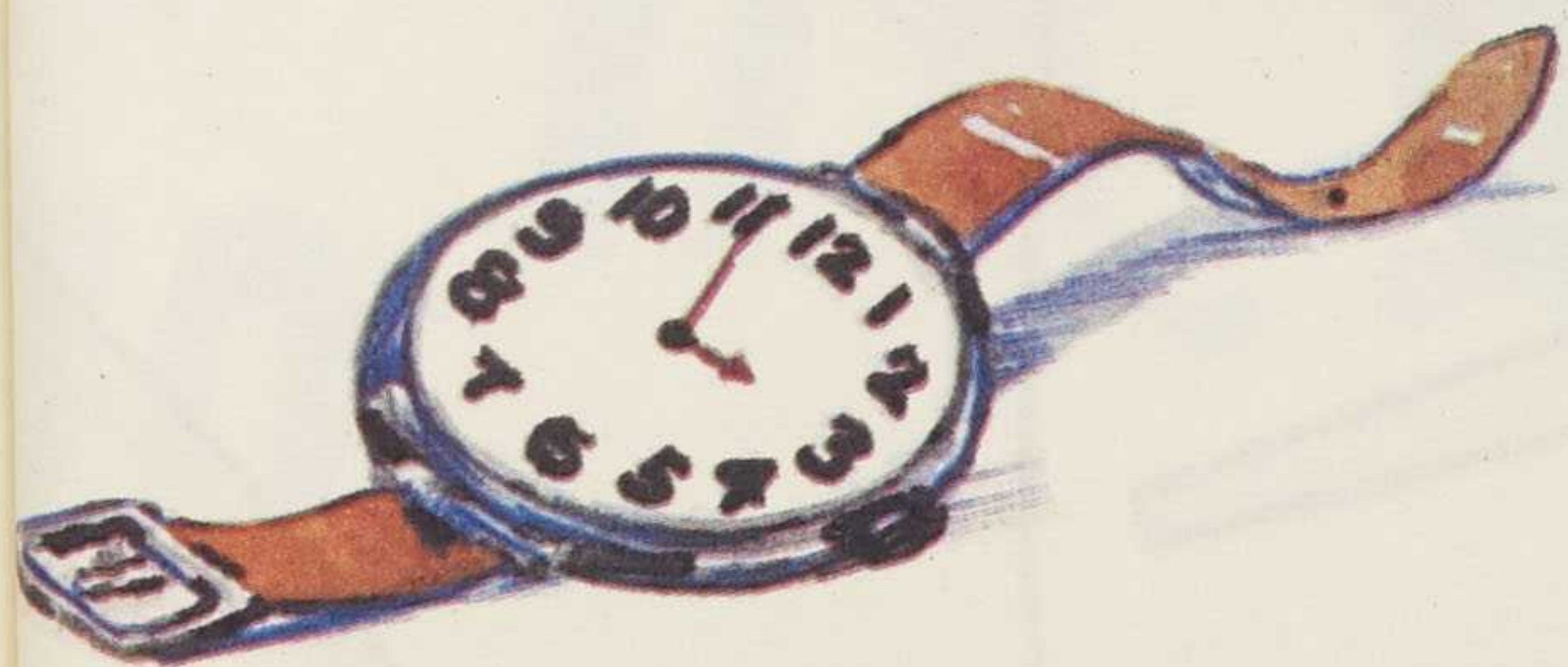
つくえも ほんばこも、

ねむって います。

とけいだけが ねむって いません。

かっちゃん かっちゃん はたらいて います。

「ぼん、ぼん、ぼん。」



「ほん、ほん、ほん。」

ほんほんどけいになりました。

どほんいほん「いま、ちようど 三じです。」

つくえの上のうでどけいがありました。

どうでい「いいえ、いま 三じ五ふんまえです。」

すると、ほんばこの上のめざましどけいが

いいました。

どめざまし「ちがいます。いま 三じ二ふんすぎです。」





どめ
げざ
いま
し

みつつのどけいは、けんかを
はじめました。
すると、ほんばこが
めをさましました。

どう
けで
い

「ちがいます。ちがいます。三じ五ふんまえです。」

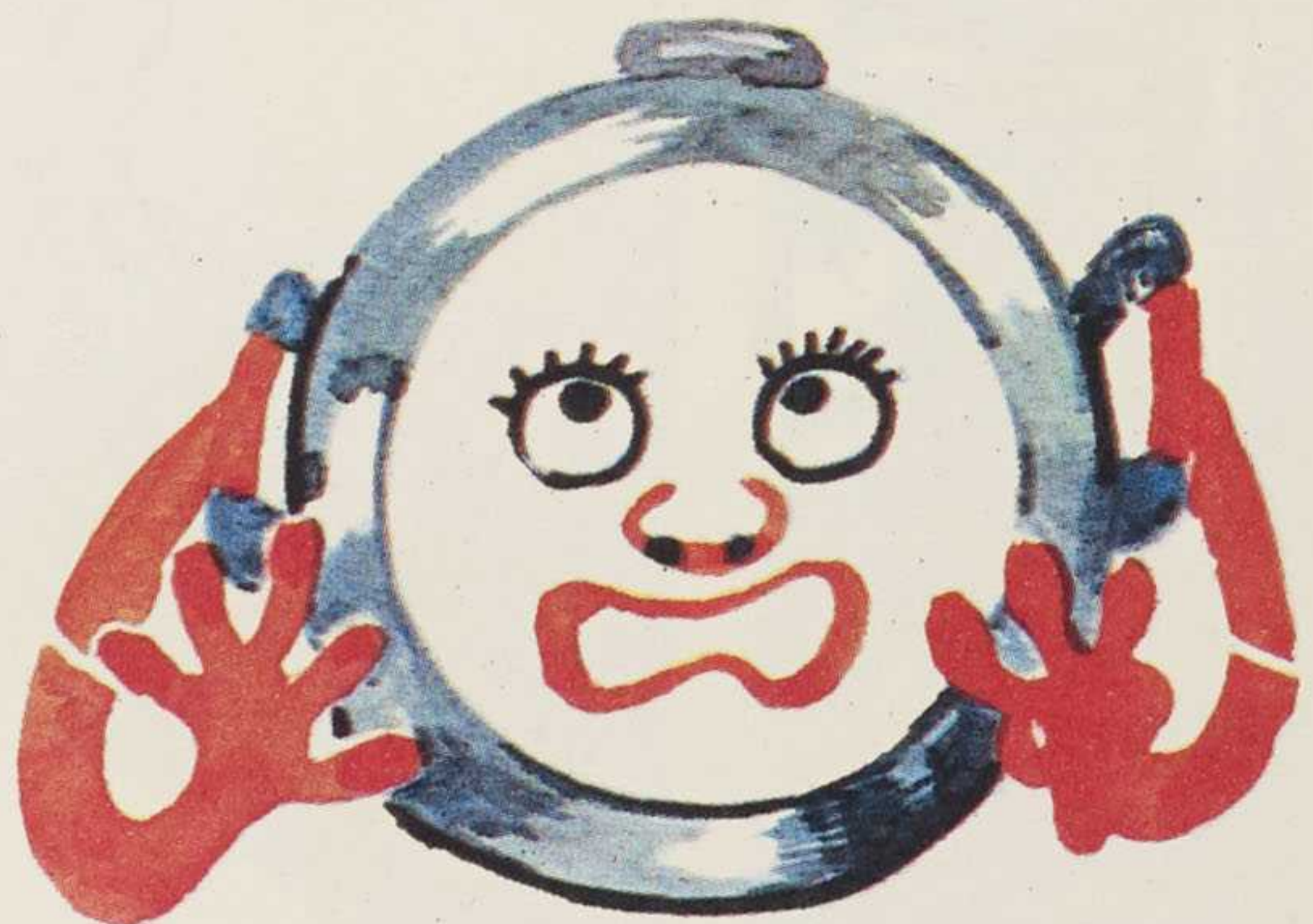
ちようど三じです。」



どぼ
けん
いぼ
ん

ぼんぼんどけいと
うでどけいは、
めざましどけいに
いいました。

「ちがいます。ちがいます。」



すると、ほんばこが めを さましました。

ほん
ばこ

「しずかに して ください。

いまは よなかです。」

つくえも めを さましました。

つくえ 「しずかに して ください。

いまは よなかです。」

ぼんぼんどけいが いいました。

ぼんぼんどけい「
いいえ だめです。これは

たいせつな はなしです。」



ほんばこが　いいました。

ほんばこ　「それでは、でんわさんに

ききなさい。」

でんわは　おきて　いきました。

でんわ　「けんかを　しては　いけません。

いつでも、わたしに　きいて　ください。

いま　三じ五ふんすぎです。」



みっつの とけいは、けんかを やめました。

たいへん しずかになりました。

みんな ねむりました。

とけいだけは ねむりません。

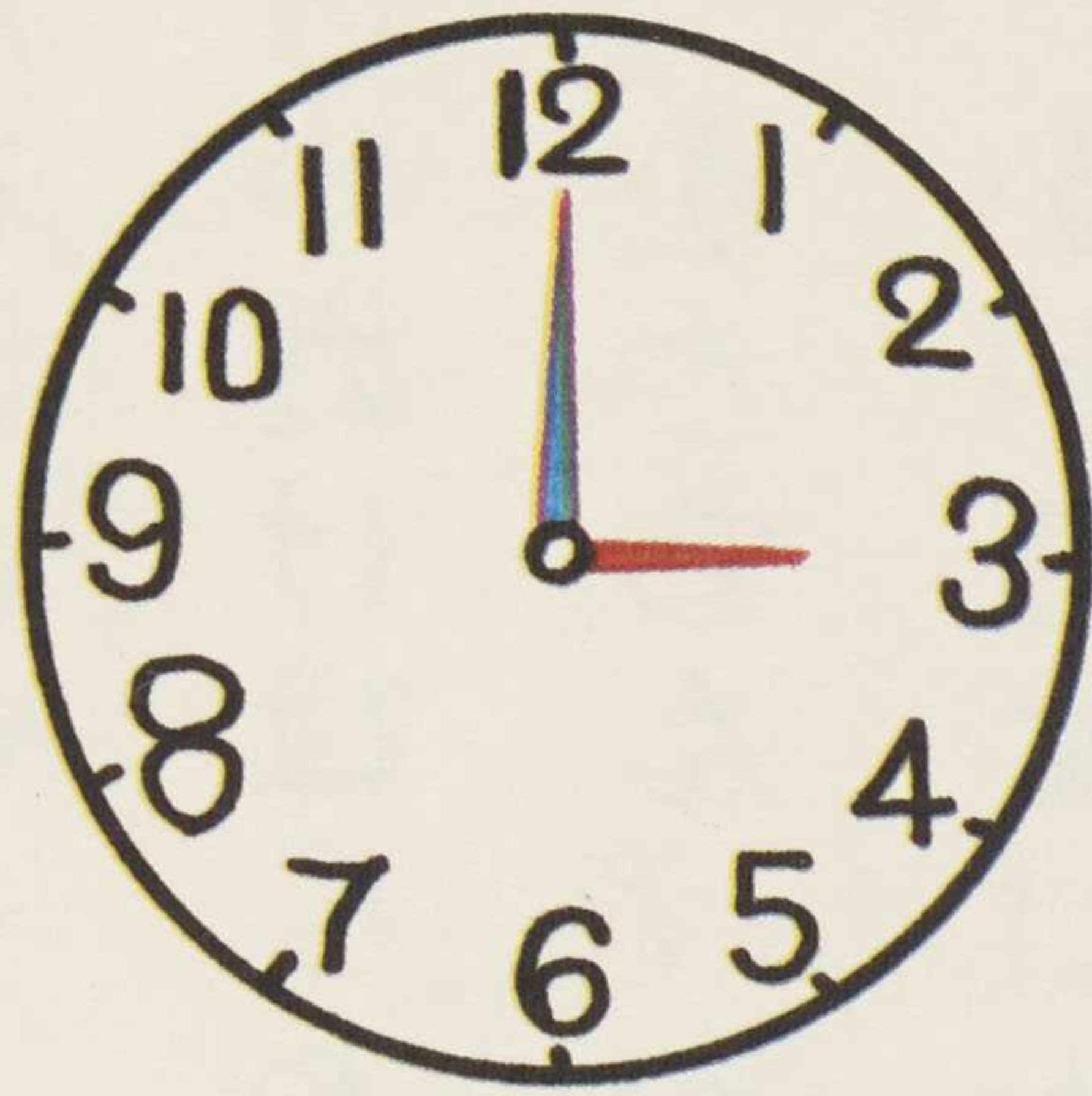
かっちゃん。かっちゃん。

かっちゃん。かっちゃん。



まとめとれんしゅう 5

いま なんじ ですか。



ちようど 三じです。

三じ五ふんまえです。

三じ五ふんすぎです。

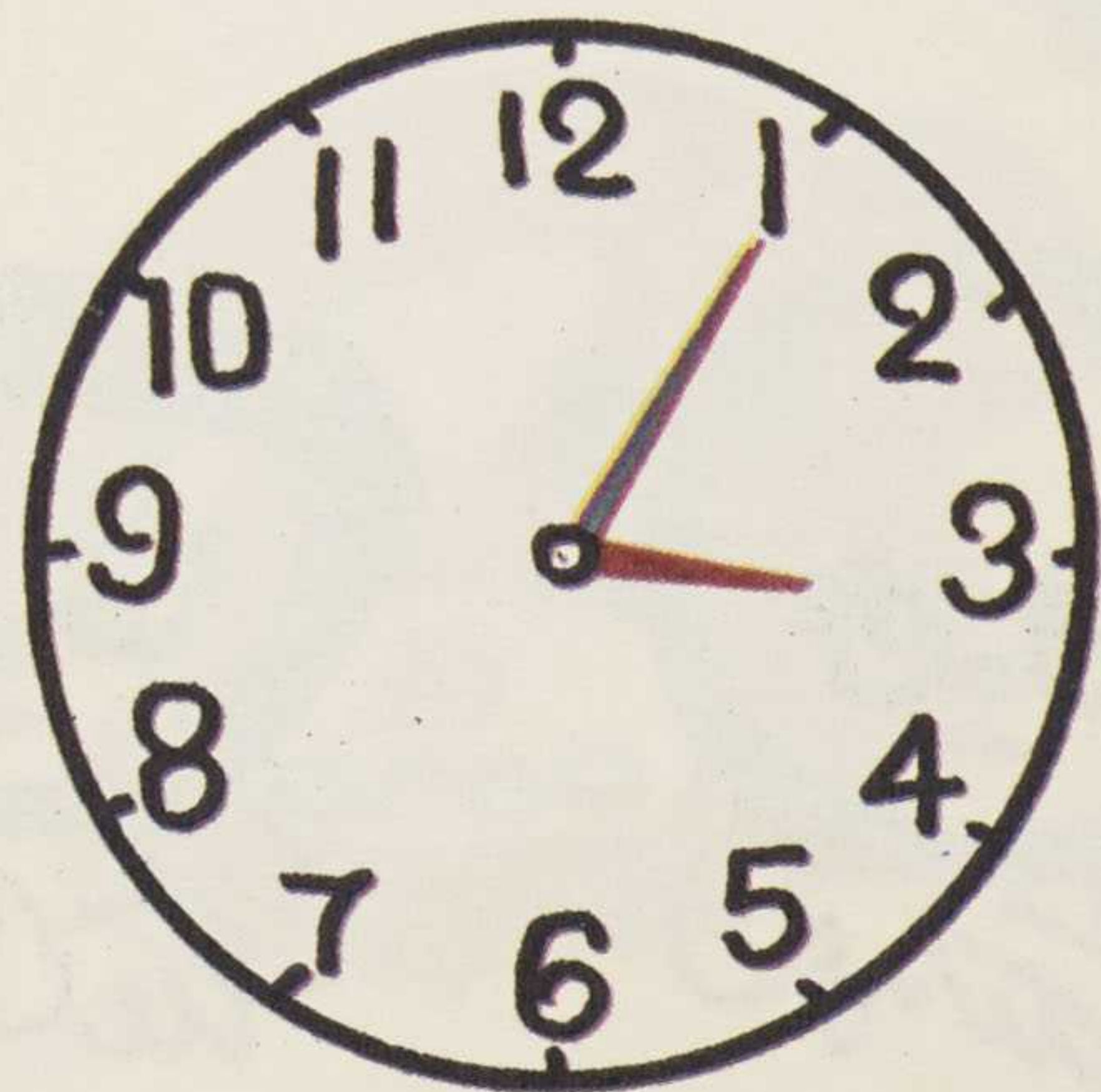
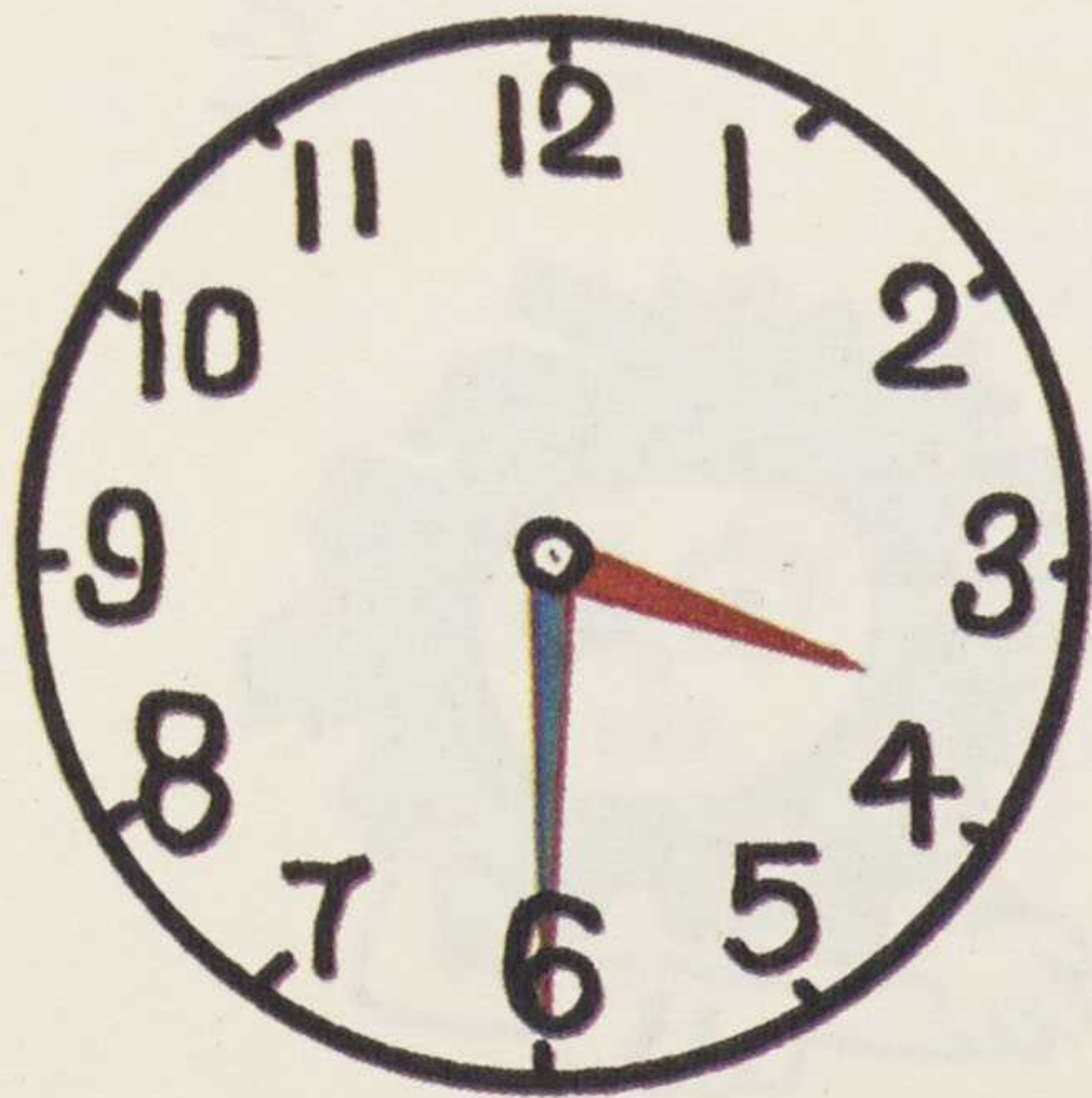
三じごろです。

三じはん です。

とけいだけが ねむって いません。

わたしだけが いきました。

いぬだけが おきて います。



上
上
上 <small>うえ</small>
一
二 <small>に</small>
五
五
五
五 <small>ご</small>

しずかに して ください。

きれいに して ください。

だいじに して ください。

きいて ください——ききなさい

たべて ください——たべなさい

べんきょうして ください——べんきょうしなさい



3

おかあさんと こども

くまと お月さま

山の 上に、まるい

お月さまが でました。

くまの おかあさんは、

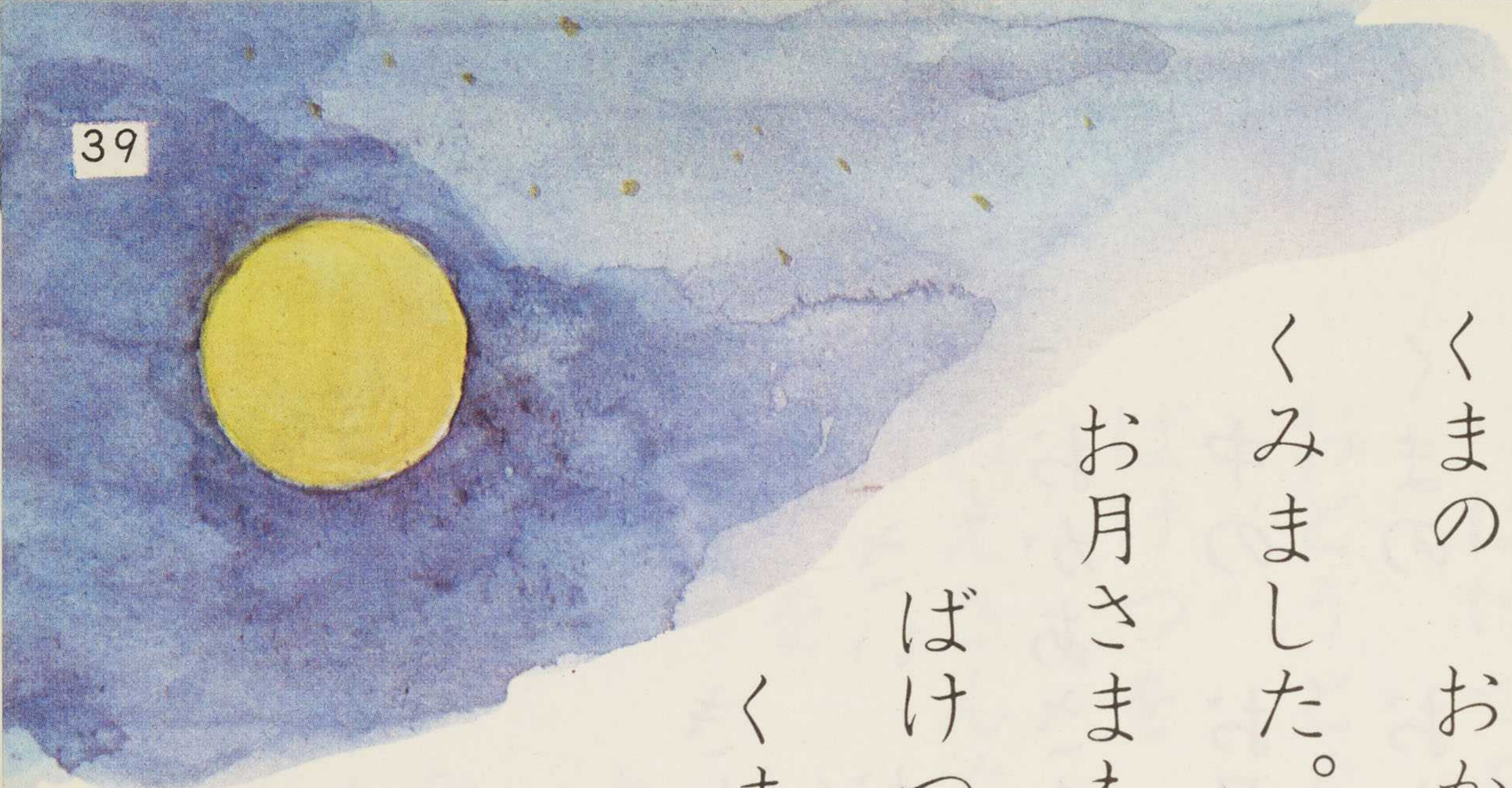
川へ みずを くみに

いきました。

川の みずには、おおきな

お月さまが、うつつて いました。





くまの おかあさんは、ばけつに みずを
くみました。

お月さまも、みずと いっしょに

ばけつの 中 にはいりました。

くまの おかあさんは、ばけつの

みずを もって、

うちへ かえりました。

ねえさんぐまが、ばけつの中を
のぞいて いました。

「まあ きれいな お月さま。」

ちいさい おとうとぐまが いました。

「おかあさん、ばけつの

中のお月さまを ください。」

くまのおかあさんは、こまりました。

すると、ねえさんぐまが いました。



「ばけつを もって いらっしやい。」

おとうとぐまは、ちいさい おもちゃの
ばけつを もって ききました。

ねえさんぐまは、おもちゃの ばけつに
みずを いっぱい いれました。

みずの 上に、お月さまが うかびました。

「きれいな お月さま。きれいな お月さま。」

おとうとぐまは、おおきな こえで いいました。

まとめと
れんしゅう
6

みずを くみ①に いきました。

おかしを かい①に いきました。

おどりを ならい①に いきました。

みずを のみ①に いきました。

ばけつを もって いらっしやい。

みずを くんで いらっしやい。

てがみを だして いらっしやい。

おかしを かって いらっしやい。



ばけつに みずを いっぱい いれました。
てに おかしを いっぱい もらいました。

ばけつを もちました。 } ばけつを もって、

うちへ かえりました。 } うちへ かえりました。

ばけつの 中を のぞきました。 } ばけつの 中を
のぞいて、いいました。

山	山
山	山 <small>やま</small>
月	月
月	月
月	月 <small>つき</small>

るすばん

ゆうがた、おかあさんが いました。

「こんばん、おとうさんと かいものに いきます。」

なつおは、あきこと るすばんして ください。」

なつおさんは、すこし しんぱい でした。

けれども、げんきよく こたえました。

「はい、いって いらっしやい。」

おとうさんと おかあさんが でかけました。

ふたりは、てれびを　みました。
あまり、おもしろく
ありませんでした。
ほんを　よみました。
あまり、おもしろく
ありませんでした。
ふたりは、さびしく
なりました。



つくえの 上に、あかい

おにの めんど、あおい

おにの めんが ありました。

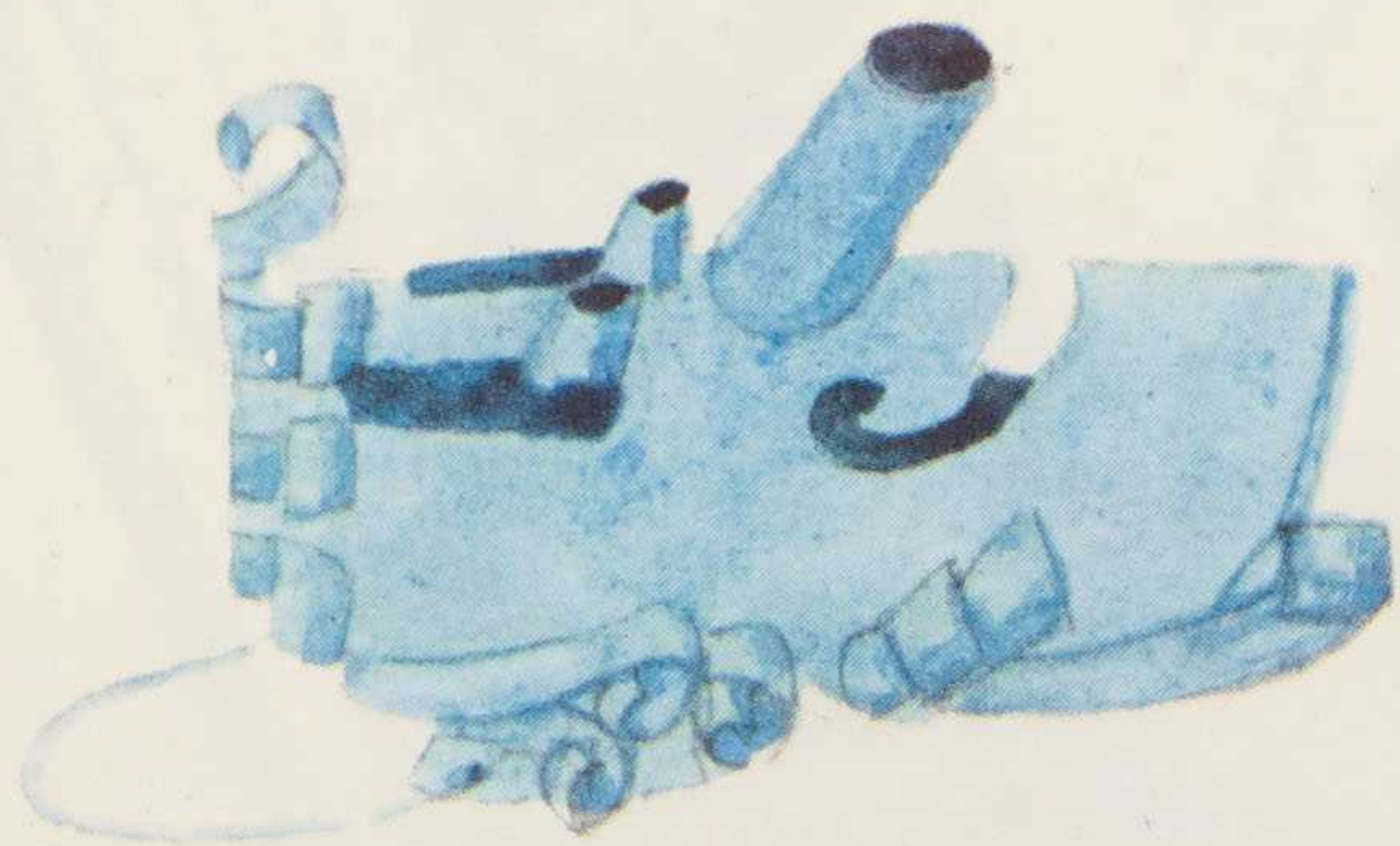
はろういんの めんです。

なつおさんは、あおい

おにの めんを かぶりました。

あきこさんは、あかい

おにの めんを かぶりました。



おいのめんを かぶりました。

ふたりは、いっしょに うたを うたいました。

おとうさんと おかあさんが かえりました。

ふたりは、いっしょに はしって いきました。

「おとうさん、おかあさん、おかえりなさい。」

おとうさんと おかあさんは、わらいながら

いきました。

「あおおにくん、あかおにさん、ただいま。」

おう、こわい こわい。」

まとめとれんしゅう 7

おもしろいです。

おもしろくありません。

おいしいです。

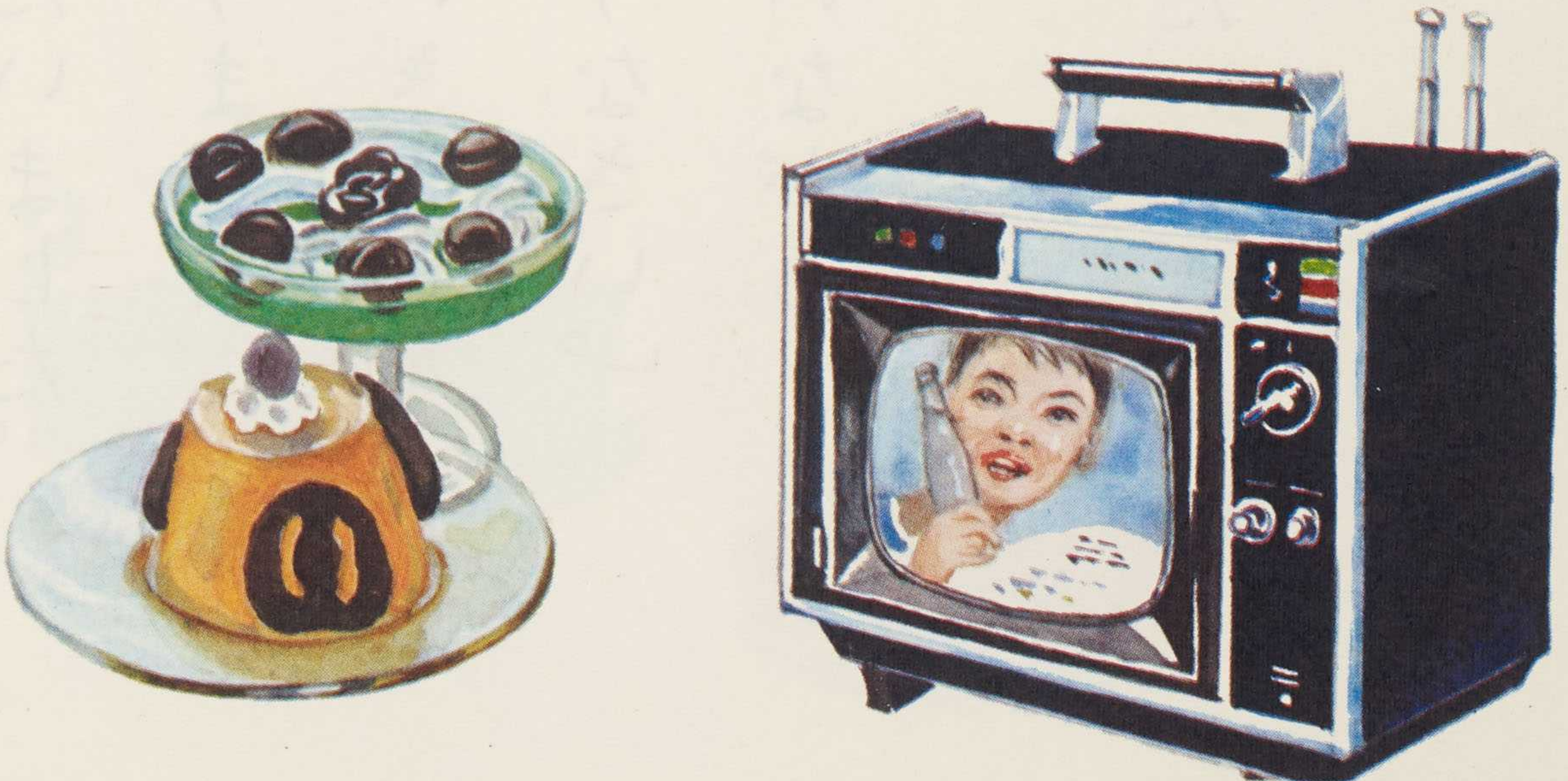
おいしくありません。

おもしろくありません。

おもしろくありませんでした。

おいしくありません。

おいしくありませんでした。



さびしい → さびしく なりました。

うれしい → うれしく なりました。

こわい → こわく なりました。

いって まいります。

いって いらっしやい。

ただいま。

おかえりなさい。



4 ことばと ぶん

ぶんつくり

あるひ せんせいが、

「みなさん、きょうは ぶんを

つくりましょう。この みつつの

ことばを つかって、ぶんを つくって ください。」

と いいました。

せんせいは、みつつの ことばを こくばんにかきました。



かきました。

- (1) おかあさん○
 (2) あかちゃん○
 (3) だきました。

なつおさんが、てを あげて こたえました。

「おかあさんが① あかちゃん②を だきました。」

「たいへん よく できました。つぎは これですよ。」

と せんせいが いいました。



- (1) ひこうき○
 (2) そら○
 (3) とんで
 います。

こんどは はるこさんが、

「ひこうきが そらで とんで います。」

と こたえました。すると はなこさんが、

「ちがいます。」



と さけびました。みんな びっくりしました。

せんせいは、

「はなこさん、こたえて ください。」

と いいました。

はなこさんは、

「ひこうき^が そら^を とんで います。」

と こたえました。

つぎに、せんせいは かきました。

(1) わたし○

(2) おおきい ふね○

(3) のりまりました。

こんどは いちろうさんが こたえました。

「わたしは① おおきい ふね② のりまりました。」

すると みんなが、

「ちがいます。」

と さげびました。



と さげびました。

「よしこさん、こたえて ください。」

と せんせいが いいました。

よしこさんは、

「わたしは① おおきい ふね② のりました。」

と こたえました。

せんせいは、

「たいへん よく できました。」

と いいました。

まどめと
れんしゅう
8

ぶんをつくりましょう。

がっこうへいきましょう。

にわであそびましょう。

「つくってください。」といいました。

「ちがいます。」とさげびました。

「はい、そうです。」とこたえました。



あかちゃん①を だきました。

にく①を くわえました。

そら①を とんで います。

みち①を あるいて います。

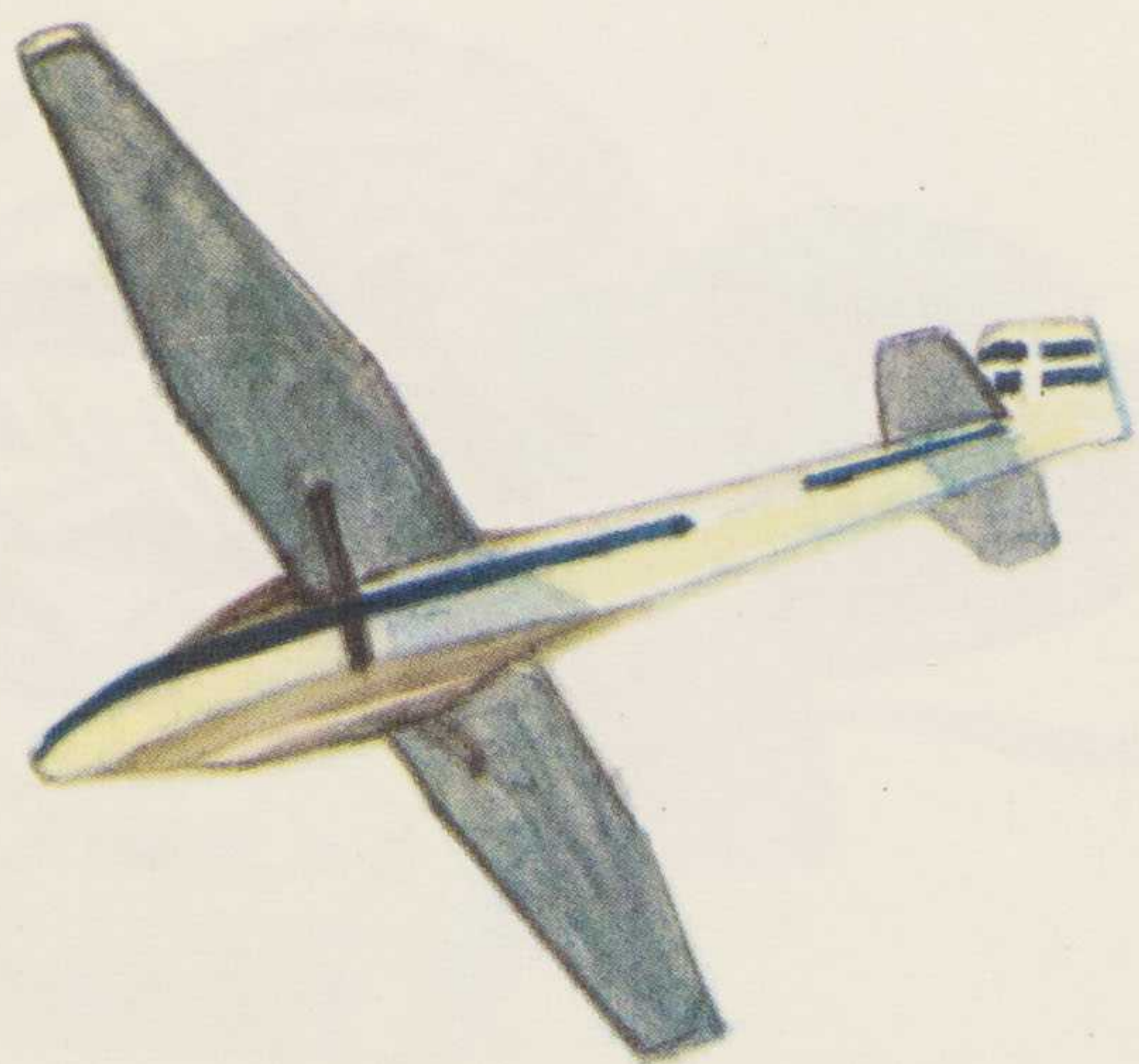
ふね①に のりました。

へや①に はいりました。

みつつの ことばを つかって、ぶんを つくって ください。

あかい はなを つかって、れいを つくって ください。

この つみきを つかって、うちを つくって ください。



ふくびき

はるこさんのうちで

ふくびきをしました。

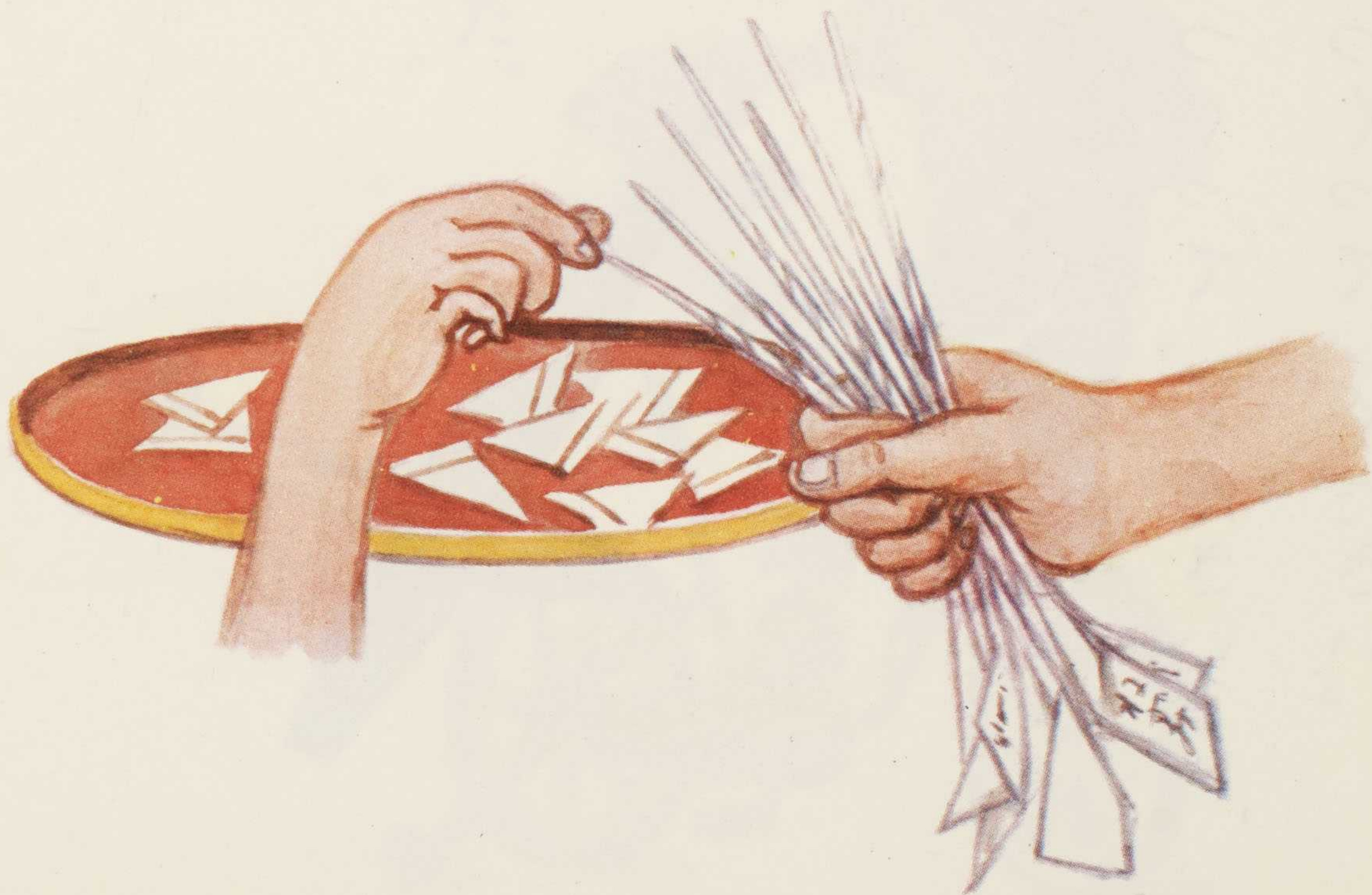
みんな、じゅんじゅんに

くじをひきました。

くじには、ことばが

かいてありました。

ひとりずつくじの



ことばを よみました。

よし「ねずみ」。

はる「ねずみは ちゅうちゅう

なきますね。

ちゅういんがむを あげます」。

よしごさんは ちゅういんがむを

もらいました。



みの「みぎがわ。」

はる「くるまは みぎがわを

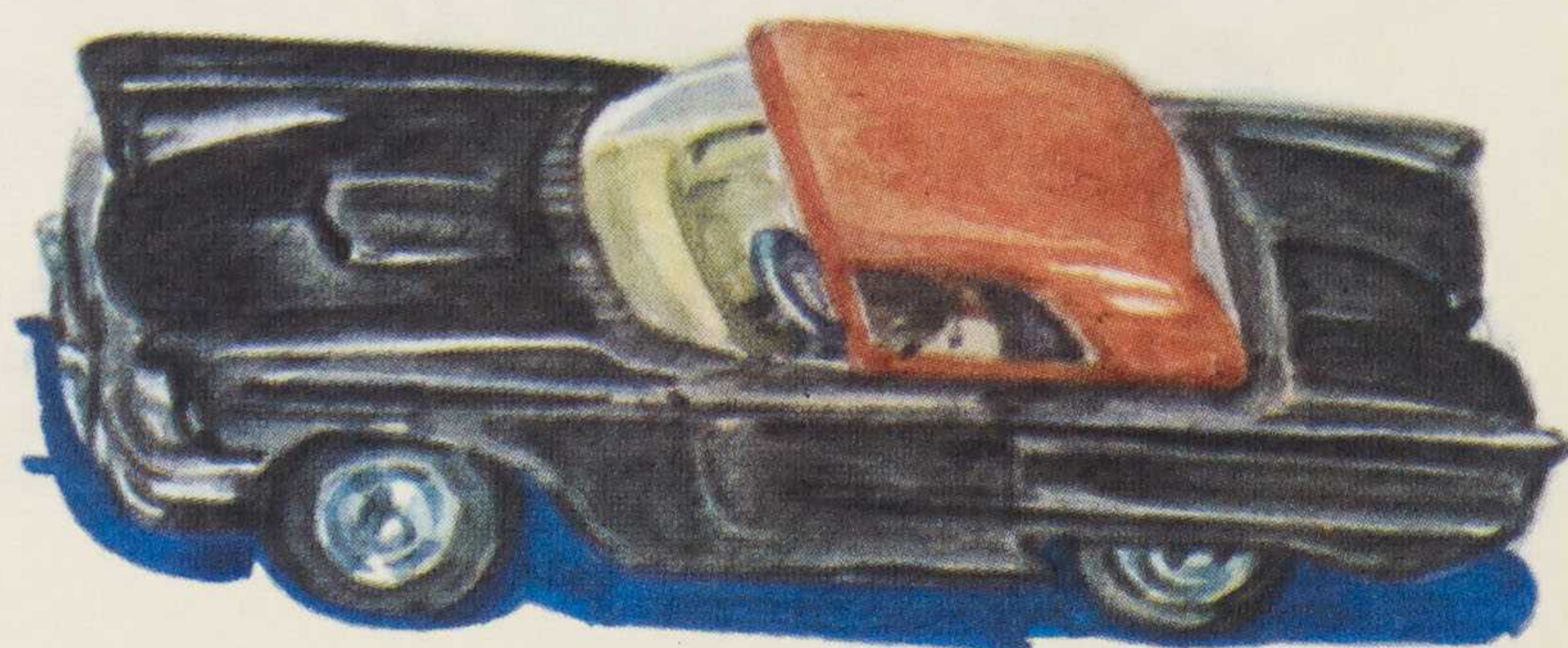
とおりますね。」

くるまを あげます。」

みのるさんは、おもちゃの

くるまを もらいました。

なつお「すってん ころりん。」



はる「ばななのかわですべって、

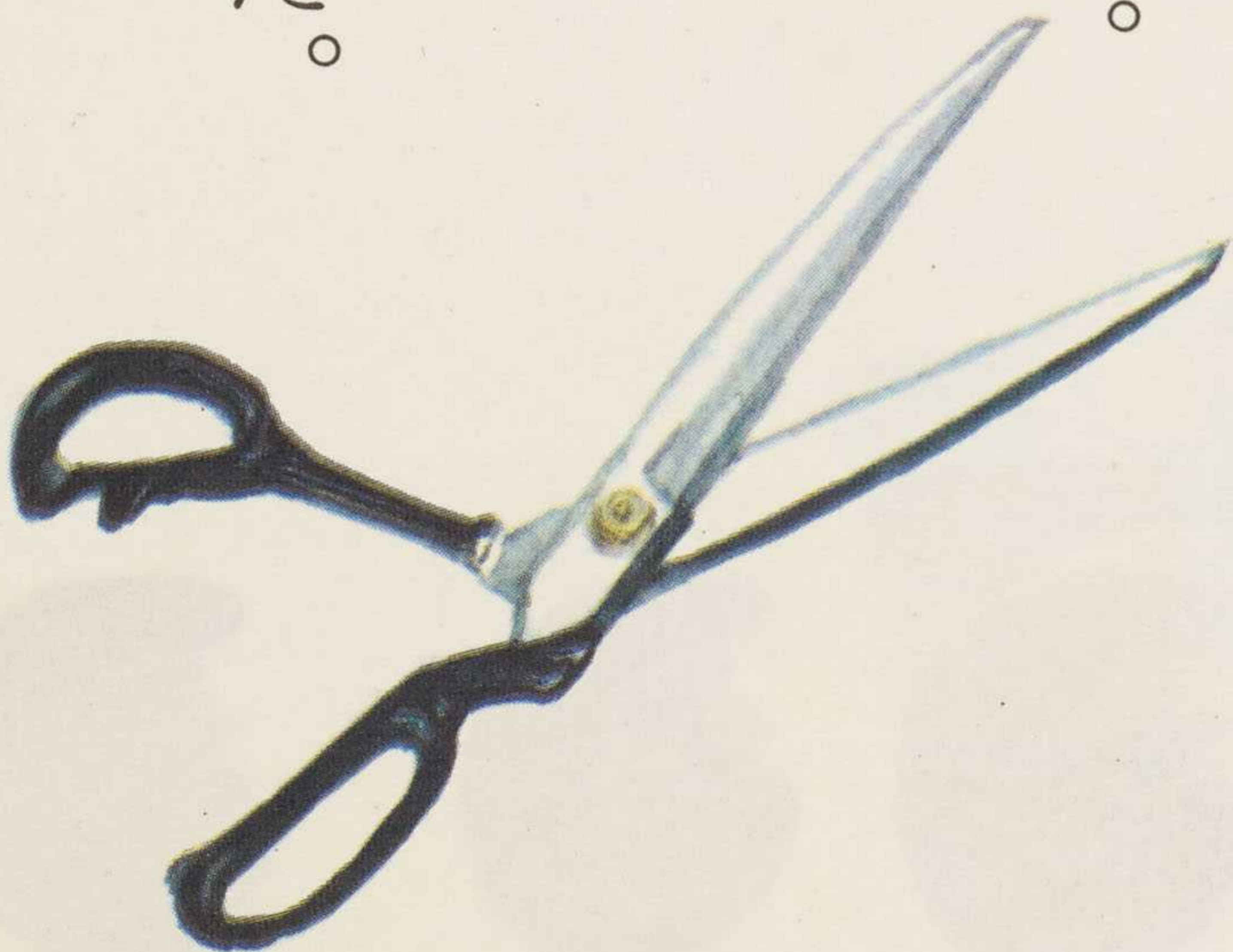
すってんころりんところびます。」

なつおさんはばななをもらいました。

はな「かに。」

はる「かにははさみがありますね。」

はなごさんははさみをもらいました。



まとめとれんしゅう 9

じゅんじゅんに くじを ひきました。

じゅんじゅんに ならびました。

じゅんじゅんに くるまに のりました。

ひとりずつ よみました。

ひとりずつ うたいました。

ひとりずつ くじを ひきました。



ことばが かにて ありました。

えが かにて ありました。

じが かにて ありました。

はさみを

もらいました。
あげました。

はるこさんは はさみを あげました。

はなこさんは はさみを もらいました。



5 いっすんぼうし

いっすんぼうし

むかし むかし、ある うちに

たいへん ちいさい おとこの

子が うまれました。

おとうさんは、その 子に

「いっすんぼうし」と いう

なまえを つけました。



いっすんぼうしは、

「にっぽんでいちばん

おおきいのまちへいきたい。

そこでべんきょうしたい。」

とおもいました。

おとうさんとおかあさんに

そうだんしました。



いっすんぼうしは、はりの
かたなを つくって
もらいました。そして、
おわんの ふねに のりま
した。はしの かいで
こいで、どんどん 川を
のぼって いきました。



まちに つくと、いっすんぼうしは、
だいじんの うちへ いきました。
げたの あいだから、
「ごめん ください。」
と、おおきい こえで いいました。
いっすんぼうしは、その うちで、
はたらきながら べんきょう
しました。



だいじんのうちに、きれいな
おひめさまがいました。
ある日、おひめさまは、
おてらへおまいりに
いきました。
いっすんぼうしも、おともを
していきました。



とちゅうで、おそろしい

あかおにが でて きました。

みんなは おどろいて、にげ

だしました。

おには、おひめさまを

たべようと しました。

いっすんぼうしは、はりの

かたなを ぬきました。



いっすんぼうしは、おにの
口の中にとびこみました。
はりのかたなで、おにの
おなかをさしました。
おにはいっすんぼうしを
はきだしました。「うちでの
こづち」をわすれて、
にげていきました。



おひめさまは「うちでの
こづち」をふりながら、
「いっすんぼうし おおきく
なれ。」と三どいいました。
すると、いっすんぼうしは、
ずんずん せが のびて
きました。りっぱな
わかものになりました。



いっすんぼうしは、
いっしょうけんめいに
べんきょうしました。
そして、えらいひとに
なりました。
いっすんぼうしは おひめ
さまと けっこんしました。



いっすんぼうしは、

おとうさんと おかあさんを

まちに よびました。

そして、みんなで、

なかよく たのしく

くらししました。



まとめと

れんしゅう

10

その子に「いっすんぼうし」
 というなまえを つけました。

そのおとこの子に「ももたろう」
 というなまえを つけました。

そのいぬに「しろ」
 というなまえを つけました。

その子は、「いっすんぼうし」というなまえです。

そのいぬは、「しろ」というなまえです。



そのいぬは、「しろ」というなまえです。

いきたい (です)

べんきょうしたい (です)

はたらきたい (です)

つくりたい (です)

もらいたい (です)

たべようと しました。

あけようと しました。

でようと しました。

にげようと しました。



かんじ

七 <small>しち</small>	六 <small>ろく</small>	一 <small>いち</small>	中 <small>なか</small>	下 <small>した</small>	川 <small>かわ</small>	
22	22	22	18	18	17	
セジ	ロジ	イチ	川の 中	はしの 下	ちいさい 川	
九 <small>く</small>	四 <small>よ(し)</small>	三 <small>さん</small>	二 <small>に</small>	五 <small>ご</small>	八 <small>はち</small>	
25	24	23	23	23	22	
クジ	ヨニン	サンカン	ニジカン	ゴニン	ハニン	
口 <small>くち</small>	日 <small>ひ</small>	子 <small>こ</small>	月 <small>つき</small>	山 <small>やま</small>	上 <small>うへ</small>	十 <small>じゅう</small>
70	68	64	38	38	38	27
口の 中	ある 日	おとこの 子	お月さま	山の 上	やねの 上	十 じ

子
子
子
日
日
日
日
口
口
口

ひらがな

ら や ま は な た さ か あ

り み ひ に ち し き い

る ゆ む ふ ぬ つ す く う

れ め へ ね て せ け え

ろ よ も ほ の と そ こ お

り	み	ひ	に	ち	し	き
や	や	や	や	や	や	や

り	み	ひ	に	ち	し	き
ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ

り	み	ひ	に	ち	し	き
よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ

ぱ ば だ ざ が ん わ

ぴ び ぢ じ ぎ

ぷ ぶ づ ず ぐ

ぺ べ で ぜ げ

ぽ ぼ ど ぞ ごと を

ぴ び ぢ じ ぎ
や や や や や

ぴ び ぢ じ ぎ
ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ

ぴ び ぢ じ ぎ
よ よ よ よ よ

上ねん三 .ほんの のごんぽに

一九六八年八月二十日 印刷
一九六八年九月一日 発行

責任編集 釘 本 久 春
東京外国語大学教授

製作 日本出版貿易株式会社
東京都千代田区神田猿樂町一之三

印刷 凸版印刷株式会社
東京都台東区台東一の五
表紙挿絵 山田貞実・田中春弥・中村千尋

発行 ハワイ教育会
ハワイ州 Honolulu 市
HAWAII KYOIKU KAI
1714 Pali Highway
Honolulu, Hawaii 96813

(社団法人日本音楽著作権協会四三〇四六六号承認済)

PRINTED IN JAPAN

132692

国立国語研究所



1002065074

(社団法人日本)

なまえ

H45

7

1